

平成30年度
全国学力・学習状況調査

解説資料

児童生徒一人一人の学力・学習状況に応じた
学習指導の改善・充実に向けて

中学校 国語



平成30年4月
国立教育政策研究所
教育課程研究センター

目 次

平成30年度 全国学力・学習状況調査 解説資料について	1
I 中学校国語科の調査問題作成に当たって	5
II 調査問題一覧表	9
A 主として「知識」に関する問題	10
B 主として「活用」に関する問題	12
III 調査問題の解説（出題の趣旨，解説，解答類型等）	13
A 主として「知識」に関する問題	13
① スピーチを聞く	14
② 図書だよりを作成する	16
③ 文学的な文章を読む（「少年」）	20
④ 意見文の下書きを推敲する	25
⑤ 説明的な文章を読む	28
⑥ 話合いをする	32
⑦ ニュースを見る	36
⑧ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	39
B 主として「活用」に関する問題	55
① 説明的な文章を読む	56
② 資料を作成して発表する（ロボット）	62
③ 文学的な文章を読む（「夢を買った話」）	68
IV 解答用紙（正答（例））	75
国語A	76
国語B	78
V 点字問題（抜粋）	81
VI 拡大文字問題（抜粋）	91

平成 30 年度 全国学力・学習状況調査 解説資料について

◆ 目的

本資料は、平成 30 年度全国学力・学習状況調査の実施後、各教育委員会や学校が速やかに児童生徒の学力や学習の状況、課題等を把握するとともに、それらを踏まえて調査対象学年及び他の学年の児童生徒への学習指導の改善・充実等に取り組む際に役立てることができるよう作成したものです。

◆ 特徴

「教科に関する調査」の各問題について、学習指導の改善・充実を図るための情報を盛り込んでいます。

「教科に関する調査」の各問題について、出題の趣旨、学習指導要領における領域・内容、解答類型、正答や予想される誤答の解説、学習指導の改善・充実を図るための情報等を記述しています。

全ての先生が、学習指導の改善・充実に活用できるものを目指して作成しています。

本調査は、小学校においては第 5 学年まで、中学校においては第 2 学年までに、十分に身に付け、活用できるようにしておくべきと考えられる内容を出題していますので、調査の対象学年だけではなく、全学年を通じた学習指導の改善・充実を図るための参考とすることができます。各問題の「学習指導要領における領域・内容」には、該当する学年を示していますので、学校全体で組織的・継続的な取組を展開する際に活用できます。

調査実施後、すぐに活用できるように作成しています。

調査結果が出る前の段階から、自校での採点を含め、日々の学習指導の改善・充実を図る際に役立てることができるように作成しています。

※調査結果を公表する際、調査結果から見られた課題の有無や誤答の分析、学習指導の改善・充実を図る際のポイント等を示した「報告書」を作成します。

一人一人のつまずきが見えるように「解答類型」を設けています。

本調査では、児童生徒一人一人の具体的な解答状況を把握できるよう、設定する条件などに即して解答を分類、整理するためのものとして、「解答類型」を設けています。

「解答類型について」で、つまずきの分析ができるよう解答類型の説明をしています。正誤だけではなく、一人一人の誤答の状況（どこでつまずいているのか）等に注目して、学習指導の改善・充実を図ることができます。

関連する過去の資料も活用できるように作成しています。

関連する過去の調査の解説資料や報告書などの該当ページも記載しています。

学習指導の改善・充実を図る際は、これらの資料も併せて活用すると一層効果的です。

※過去の解説資料・報告書などは、国立教育政策研究所のウェブサイトで見ることができます。

(<http://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>)

◆ 本資料の活用にあたって

I 調査問題作成にあたって

調査問題作成の基本理念、問題作成の枠組みについて解説しています。

II 調査問題一覧表

問題の概要、出題の趣旨、関係する学習指導要領の領域等、評価の観点、問題形式を一覧表にまとめています。

Ⅲ 調査問題の解説

調査問題について、出題の趣旨、解説（解答類型、学習指導要領における領域・内容）等を記述しています。（問題によっては、記述のない項目もあります。）

調査問題を縮小して掲載しています。
※著作権の都合により一部を省略しているものがあります。

1. 出題の趣旨

問題ごとに出題の意図、把握しようとする力、場面設定などについて記述しています。

2. 解説

趣旨

問題ごとの出題の意図、把握しようとする力などを示しています。

■学習指導要領における領域・内容

調査対象学年及び他の学年の児童生徒への学習指導の改善・充実を図る際に参考となるよう、関係する学習指導要領における領域・内容を示しています。

■評価の観点

問題に関する評価の観点を示しています。

解答類型（下欄の*を参照）

児童生徒一人一人の解答状況を把握することができるように、問題における解答類型を示しています。

※図はイメージです。

教科名 A ○ ……………

問題画像

1. 出題の趣旨

.....

2. 解説

設問 ○

趣旨

.....

■学習指導要領における領域・内容
〔第○学年〕

■評価の観点

解答類型

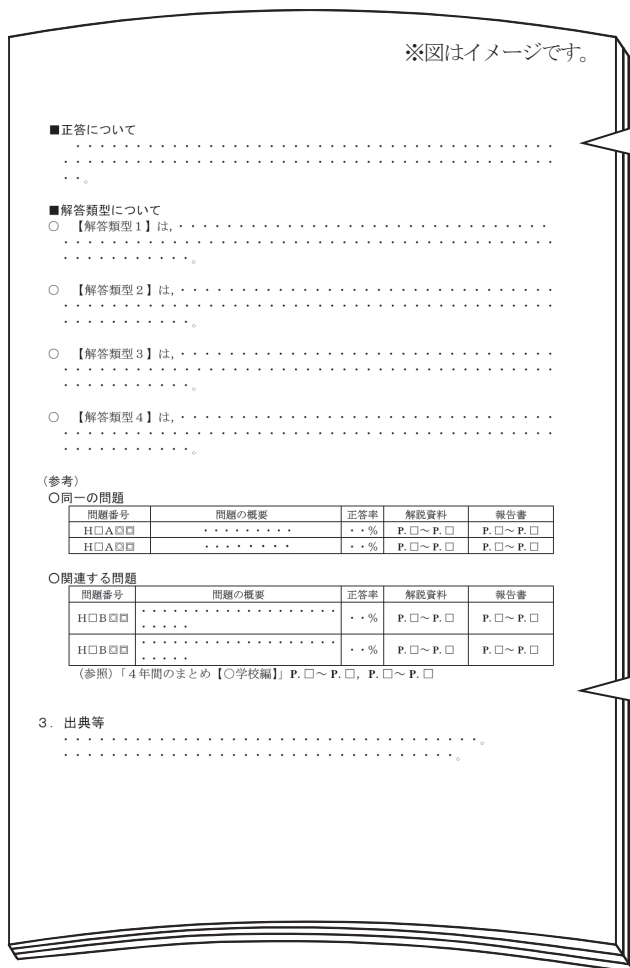
問題番号	解答類型	正答
○ ○	1.	◎
	2.	
	3.	
	4.	
99	上記以外の解答	
0	無解答	

* 児童生徒一人一人の解答状況を把握するために

<解答類型> 児童生徒一人一人の具体的な解答状況を把握することができるよう、設定する条件などに即して解答を分類、整理するためのものです。解答例を示すとともに、必要に応じて「正答について」の解説を加えていますので、自校での採点を行う際や、児童生徒一人一人の誤答の状況（どこでつまづいているのか）等に着目した学習指導の改善・充実を図る際に活用することができます。

<正 答> 「◎」…解答として求める条件を全て満たしている正答
「○」…問題の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答

<類型番号> 類型 1～38（最大）… 正答・予想される誤答
（複数の類型が正答となる問題もある）
類型 99 … 「上記以外の解答」
（類型 1～38 までに含まれない解答）
類型 0 … 「無解答」（解答の記入のないもの）



■正答について
正答についての解説を適宜記述しています。

■解答類型について
予想される解答から、身に付いている力や考えられるつまずき等を記述しています。

(参考)
過去の関連する問題、解説資料、報告書等を記載しています。

3. 出典等
著作物からの出題の場合に、出典及び著作権者等について示しています。
また、問題作成に当たって参考としたものについても示しています。

IV 解答用紙（正答（例））

調査問題の解答用紙に正答（例）を記述したものを掲載しています。

V 点字問題（抜粋）

点字問題の一部を、当該問題の解答類型及び作成に当たって配慮した点などとともに掲載しています。

VI 拡大文字問題（抜粋）

拡大文字問題の一部を、当該問題の通常問題及び作成に当たって配慮した点などとともに掲載しています。

※本資料では、以下の資料については略称を用いています。

資料	略称
「全国学力・学習状況調査の4年間の調査結果から今後の取組が期待される内容のまとめ～児童生徒への学習指導の改善・充実に向けて～【○学校編】」	「4年間のまとめ【○学校編】」
「平成○年度 全国学力・学習状況調査 解説資料 ○学校 ○○」	「平成○年度【○学校】解説資料」
「平成○年度 全国学力・学習状況調査 報告書 ○学校 ○○」	「平成○年度【○学校】報告書」
「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～【○学校版】」	「言語活動事例集【○学校版】」

I 中学校国語科の調査問題作成に当たって

中学校国語科の調査問題作成に当たって

1 調査問題作成の基本理念

「全国的な学力調査の具体的な実施方法等について(報告)」(平成18年4月)では、調査問題の出題範囲・内容について、各学校段階における各教科等の土台となる基盤的な事項に絞った上で、調査問題作成の基本理念を以下の二つに整理している。

主として「知識」に関する問題 (以下「『知識』の問題」という。)	身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など
主として「活用」に関する問題 (以下「『活用』の問題」という。)	知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容

また、本調査の実施によって、「各教育委員会や各学校に対して、学習指導要領に示される内容等を正しく理解するよう促すとともに重視される力を子どもたちに身に付けさせるといった国としての具体的なメッセージを示すこととなる」としている。

具体的な調査問題の作成に当たっては、「調査問題自体が学校の教員や児童生徒に対して土台となる基盤的な事項を具体的に示すものであり、教員による指導改善や、児童生徒の学習改善・学習意欲の向上などに役立つとの視点が重要である」としている。

以上の点等を踏まえ、本調査の調査問題は、国際的な学力調査の考え方や調査結果及び課題等も考慮しつつ、中学校学習指導要領(平成20年告示。以下「学習指導要領」という。)に示された国語科の目標及び内容等に基づいて作成することを基本とした。

2 調査問題作成の枠組み

(1) 領域等と評価の観点

調査問題の作成に当たっては、「知識」の問題、「活用」の問題ともに、学習指導要領に示されている3領域1事項(「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、[伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項])に基づいて、その全体を視野に入れることとした。そのため、各領域等に示されている指導事項がバランスよく出題されるように配慮した。なお、中学校第2学年までの内容となるようにしている。

※ 「話すこと・聞くこと」の領域については、生徒が実際に話したり聞いたりするような調査を行うことが難しいため、場面設定・状況設定などを工夫して、話す・聞く活動にできるだけ近づけた出題となるようにした。

さらに、学習指導要領の総則「指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項」に示されている以下の点にも配慮した。

- 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的、発展的な指導ができるようにすること。
- 各教科等の指導に当たっては、生徒の思考力、判断力、表現力等をはぐくむ観点から、基礎的・基本的な知識及び技能の活用を図る学習活動を重視するとともに、言語に対する関心や理解を深め、言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語環境を整え、生徒の言語活動を充実すること。
- 各教科等の指導に当たっては、体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習を重視するとともに、生徒の興味・関心を生かし、自主的、自発的な学習が促されるよう工夫すること。

○ 各教科等の指導に当たっては、生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れるようにすること。

○ 学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実すること。

評価の観点については、国語科で行われている評価の五つの観点を用い、「国語への関心・意欲・態度」、「話す・聞く能力」、「書く能力」、「読む能力」、「言語についての知識・理解・技能」とした。なお、「国語への関心・意欲・態度」の評価については、「活用」の問題における記述式の問題、「生徒質問紙調査」でみることにした。

(2)「知識」の問題の枠組み

「知識」の問題は、各問題の出題の趣旨が学習指導要領の一つの指導事項に対応することを基本としている。

また、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の3領域1事項の全てからの出題となるように留意した。

調査時間は、45分である。

(3)「活用」の問題の枠組み

「活用」の問題は、「全国的な学力調査の具体的な実施方法等について(報告)」に示された例や学習指導要領に示された言語活動例などを参考に、実生活の具体的な場面や生徒が授業などで実際に行っている言語活動を想定したものにするを基本としている。一つの領域だけでなく、複数の領域の指導事項に対応させて出題している場合もある。

調査時間は、45分である。

(4)問題形式

問題の形式は、選択式、短答式、記述式の3種類としている。

記述式の問題では、一つに限定される正答を書くのではなく、幾つかの選択肢やいろいろな考え方、答え方があるものなどについて、自分の考えを明確にして書くことを求めている。具体的には、「活用」の問題において、各大問の中に1題程度記述式の問題を取り入れている。

◆ 点字問題、拡大文字問題、ルビ振り問題の作成について

本調査では、視覚障害等のある児童生徒及び日本語指導が必要な児童生徒等に配慮した調査問題（点字問題、拡大文字問題、ルビ振り問題）を作成している。

点字問題では、全体を点訳するとともに、点字による図版等の認知に伴う負担等を考慮し、図版等の情報の精査（グラフを表にしたり、記述による説明に替えたりするなど）を行ったり、出題の趣旨を踏まえつつ代替問題を作成したりするなどの配慮を行っている。

拡大文字問題では、対象となる児童生徒の見え方やそれに伴う負担等を考慮し、文字や図版等を拡大するとともに、文字のフォントや図版等の線の太さ・濃さ、コントラスト、レイアウト等を変更するなどの配慮を行っている。

II 調查問題一覽表

調査問題一覧表 【中学校国語】
A 主として「知識」に関する問題

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点					問題形式		
			聞話	書	読	伝統的な言語文化と国語の事項	関心・語意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式
1	－ スピーチの感想に対して先生が述べた言葉として適切なものを選択する	話の論理的な構成や展開などに注意して聞く	2 エ				○				○			
2	－ 図書だよりの下書きの構成を説明したものとして適切なものを選択する	書こうとする事柄のまとまりや順序を考えて文章を構成する		1 イ				○			○			
	二 二つの意見の内容を一文で書き加える	伝えたい事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように書く		2 ウ				○				○		
3	－ 「それは掛け値のない、二秒の間のできごとである」を説明したものとして適切なものを選択する	文脈の中における語句の意味を理解する			1 ア				○		○			
	－ 父と保吉の言動についての説明として適切なものを選択する	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する			1 ウ				○		○			
4	－ 意見文の下書きに一文を書き加える意図として適切なものを選択する	書いた文章を読み返し、伝えたい内容が十分に表されているかを検討する		1 エ				○			○			
	－ 段落の内容を入れ替えて書き直す理由として適切なものを選択する	段落相互の関係に注意し、読みやすく分かりやすい文章にする		2 エ				○			○			
5	－ 本文の第六段落の説明として適切なものを選択する	段落が文章全体の中で果たす役割を捉え、内容の理解に役立てる			2 イ				○		○			
	－ 新聞紙の製造工程の一部を言い表したものとして適切なものを選択する	文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える			1 イ				○		○			
6	－ 話合いの際のメモのとり方の説明として適切なものを選択する	話合いの話題や方向を捉える	1 オ				○				○			
	－ 話合いの中で確認しなければならないことについての司会としての発言を書く	話合いの話題や方向を捉えて的確に話す	1 オ				○					○		
7	－ 場面に当てはまる語句の意味として適切なものを選択する（ハナイカダ）	語句の辞書的な意味を踏まえて文脈上の意味を捉える			1(1) イ(イ)					○	○			
	－ 「それでは」の働きとして適切なものを選択する	接続詞の働きについて理解する			1(1) イ(ロ)					○	○			

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点					問題形式		
			聞話	書	読	伝統的な言語文化と国語の事項	関心・語意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語理解・技能	選択式	短答式	記述式
8	一 1 漢字を書く（紙をひもでタハねる）	文脈に即して漢字を正しく書く				2(1) ウ(イ)					○	○		
	一 2 漢字を書く（舞台のマクが上がる）					2(1) ウ(イ)					○	○		
	一 3 漢字を書く（先制点をユルす）					2(1) ウ(イ)					○	○		
	二 1 漢字を読む（模型を作る）	文脈に即して漢字を正しく読む				2(1) ウ(イ)					○	○		
	二 2 漢字を読む（池の水が速る）					2(1) ウ(イ)					○	○		
	二 3 漢字を読む（技を磨く）					2(1) ウ(イ)					○	○		
	三 ア 適切な語句を選択する（立場の異なる両者の主張は終始一貫して変わらず、最後まで結論が出なかった）	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う				1(1) イ(ウ)					○	○		
	三 イ 適切な語句を選択する（魚の中には群れを作って泳ぐ習性をもつものがある）					2(1) イ(ウ)					○	○		
	三 ウ 適切な敬語を選択する（先生が私たちに大切なことをおっしゃった）					2(1) イ(ウ)					○	○		
	三 エ 適切な語句を選択する（彼はせきを切ったように話し始めた）					1(1) イ(ウ)					○	○		
	三 オ 適切な語句を選択する（意見の折り合いをつける）					1(1) イ(ウ)					○	○		
	三 カ 適切な語句を選択する（わたしが健康になったのは、ひとえに母のおかげです）					1(1) イ(ウ)					○	○		
	三 キ 適切な語句を選択する（姉はみんなと一緒に運動をすることが好きだ。一方、妹は一人で本を読むことが好きだ）					1(1) イ(ウ)					○	○		
	四 1 「心を打たれる」の意味として適切なものを選択する		慣用句の意味を理解する				3・4 (1)ア(イ)					○	○	
	四 2 「心を打たれた。」を文末に用いた一文を、主語を明らかにし、「誰（何）」の「どのようなこと」に「心を打たれた」のかが分かるように書く	目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書くように書く				2(1) イ(ウ)					○	○		
	五 作品への助言として適切なものを選択する	行書の基礎的な書き方を理解して書く				1(2) イ					○	○		
	六 1 『韓非子』の中の語句の訳を抜き出す（いはく）	古典の文章と現代語訳とを対応させて内容を捉える				2(1) ア(イ)					○	○		
	六 2 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（とほさざるなし）	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む				1(1) ア(ウ)					○	○		
六 3 『韓非子』の中で矛盾していることの説明として適切なものを選択する	古典に表れたものの見方や考え方を理解する				2(1) ア(イ)					○	○			

調査問題一覧表 【中学校国語】
B 主として「活用」に関する問題

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式		
			聞話	書	読	伝統的な言語文化と国語の事項	関心・語意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語理解・表現技能	選択式	短答式
1	一 グラフから分かることについて文章中で説明しているものとして適切なものを選択する	文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉える			1 イ				○		○		
	二 複数の辞書を引用して「天地無用」の意味を示す効果として適切なものを選択する	文章の構成や展開について自分の考えをもつ			1 エ				○		○		
	三 「天地無用」という言葉を誤った意味で解釈してしまう人がいる理由を書く	目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く		2 ウ	1 イ		○		○				○
2	一 二人の質問の意図として適切なものを選択する	質問の意図を捉える	1 エ						○			○	
	二 二人に続いてする質問を書く	話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問する	1 エ				○	○					○
	三 ロボットに期待することを述べて発表をまとめる際の話の進め方として適切なものを選択する	全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話す	1 イ						○			○	
3	一 登場人物についての説明として適切なものを選択する	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する			1 ウ				○		○		
	二 文章中の表現について語った人物として適切なものを選択する	登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てる			2 イ				○		○		
	三 話のあらすじを学級の友達にどのように説明するかを書く	相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書く		1 ウ	1 イ	2(1) ア(イ)	○		○	○	○		○

Ⅲ 調査問題の解説

(出題の趣旨, 解説, 解答類型等)

A 主として「知識」に関する問題

国語A 1 スピーチを聞く

1 山田さんは、「生活面や学習面で頑張りたいこと」というテーマでスピーチをしました。次は、山田さんの【スピーチ】と、それを聞いたあとの【村井さんの感想】と【清水さんの感想】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【スピーチ】

私が頑張りたいと思っていることは、英語の勉強です。
先日バス停で、外国の方に“Excuse me.”と話しかけられ、英語で駅までの道順を尋ねられました。私は英語が苦手なので、一瞬、その場から逃げ出したい気持ちになりました。しかし、きちんと伝えなければ相手が困るだろうと考え、授業で道案内について学習したことを思い出しながら、goやturnなどの単語を使い、身振り手振りを交えて説明しました。時間がかかりましたが、何とか駅までの道順を伝えることができました。最後に“Thank you.”と言われたので、“You’re welcome.”と答えたら、相手は笑顔で手を振りながら駅に向かっていきました。自分の話した英語が外国の方に伝わってとてもうれしく思いました。決して上手な話し方ではなかったかもしれませんが、今まで学んできたことが実際の場面で役に立ってよかったです。
それ以来、私はもっと他の場面でも英語を使ってみたいと思うようになりました。これからは、実際に使う場面を考えながら、英語の勉強を頑張っていきたいと思います。



山田さん

【村井さんの感想】

山田さんが具体的な経験を詳しく話してくれたので、なぜ英語を頑張りたいのかがとてもよく分かりました。私も英語で道順を尋ねられたことがあります。私の場合、相手の行きたい場所は分かりましたが、そこまでの道順を英語でどのように説明すればよいか分からず、何も言えませんでした。だから、山田さんが英語で道案内ができたというのを聞いて、うらやましく思いました。私も、これからは、山田さんと同じように実際に使う場面を考えながら、英語を勉強していきたいです。

【清水さんの感想】

スピーチの始めに自分が頑張りたいことを話し、次になぜ頑張りたいのかを経験をもとに話していたので、説得力がありました。また、最後に何を頑張りたいのかをもう一度述べていたので、山田さんの英語の勉強に対する思いが強く印象に残りました。自分が伝えたいことを繰り返し述べるような話の組み立て方は効果的だと思います。

— 【村井さんの感想】と【清水さんの感想】に対して先生が述べた言葉として最も適切なものを、次の1から5までの中からそれぞれ一つ選びなさい。

- 1 山田さんの言葉遣いや語句の選び方が適切かどうかを考慮することができますね。
- 2 山田さんの言葉の調子や間の取り方、話す速度に着目することができていますね。
- 3 山田さんの考えと自分の考えを比べて、質問したい内容を見付けることができていますね。
- 4 山田さんの経験に着目し、自分の経験と結び付けて話の内容に共感することができていますね。
- 5 山田さんのスピーチの構成がどのように工夫されているのかを考慮することができますね。

1. 出題の趣旨

・ 話の論理的な構成や展開などに注意して聞くこと

スピーチを聞く際には、話題としていたり話し手の意図に注意しながら、内容を的確に捉えて聞くことが大切である。その際、話の論理的な構成や展開などに注意して聞くことを通して、自分の考えと比較することが重要である。

本問では、「生活面や学習面で頑張りたいこと」をテーマにしたスピーチに対して聞き手が感想を述べ、その感想について先生がコメントを伝える場面を設定した。山田さんの【スピーチ】を聞いたあとの【村井さんの感想】と【清水さんの感想】に対して先生が述べた言葉として適切なものを選択することを通して、話全体がどのようにまとめられているかを考えることを求めている。

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第1学年〕 A 話すこと・聞くこと

ア 日常生活の中の話題について報告や紹介をしたり、それらを聞いて質問や助言をしたりすること。

2. 解説

設問一

趣旨

話の論理的な構成や展開などに注意して聞くことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 A 話すこと・聞くこと

エ 話の論理的な構成や展開などに注意して聞き、自分の考えと比較すること。

《聞くこと》

■評価の観点

話す・聞く能力

解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
①	一	1	【村井さんの感想】の欄に4, 【清水さんの感想】の欄に5と解答しているもの	◎
		2	【村井さんの感想】の欄に4と解答し, 【清水さんの感想】の欄に5と解答していないもの	
		3	【清水さんの感想】の欄に5と解答し, 【村井さんの感想】の欄に4と解答していないもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

- 【解答類型1】は、話の論理的な構成や展開などに注意して聞くことができている。【村井さんの感想】では、英語で道順を尋ねられた山田さんの経験を村井さん自身の経験と結び付けて、「英語の勉強を頑張っていきたい」という意見に対する共感を述べていることが理解できている。【清水さんの感想】では、山田さんのスピーチが双括型であることについて触れ、話の要点がより明らかになる構成の工夫について述べていることが理解できている。
- 【解答類型2】は、【清水さんの感想】が、山田さんの【スピーチ】の構成の工夫に着目して述べたものであることが理解できていないものと考えられる。
- 【解答類型3】は、【村井さんの感想】が、山田さんの経験と自分の経験とを結び付けて述べたものであることが理解できていないものと考えられる。

なお、選択肢1～3については、目的や場面によっては、スピーチをしたり、相互に評価し合ったりする際に必要な観点になる。

国語A 2 図書だよりを作成する

2 次は、図書委員の鈴木さんが書いた【図書だよりの下書き】と、それを読んだ他の図書委員から出された【意見1】と【意見2】で、これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【図書だよりの下書き】

図書だより 第一中学校図書委員会

電子書籍を読んでもみませんか？

電子書籍とは？
パソコンの画面などで読むことができる電子化された書籍のことです。

電子書籍を読むには？
家にパソコンなどがなくても、市立図書館に行くと読むことができます。ぜひ一度、体験してみませんか。

A

おすすめの電子書籍は？
『私たちの町の歴史』という本をおすすめします。私たちの暮らす地域がどのように発展してきたかが紹介されています。

利用の仕方を詳しく知るには？
電子書籍の利用の仕方を詳しく書いたパンフレットが学校図書館にあります。興味がある人は学校図書館に来てください。

【意見1】

市立図書館のパソコンを利用するには、受付で申し込めばよいことを伝えよう。

【意見2】

市立図書館のパソコンは、数に限りがあることも書いておくとよい。

- 一 【図書だよりの下書き】の構成を説明したものととして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。
- 1 伝えたいことを、重要なものから順に番号を付けて箇条書きで書いている。
 - 2 伝えたいことを、問いとそれに答える形で複数の項目を設けて書いている。
 - 3 伝えたいことを、項目を設けずに始めから終わりまでひとまとまりの文章で書いている。
 - 4 伝えたいことを、見出しを付けずに複数の段落を設けて書いている。

二 鈴木さんは、【図書だよりの下書き】の A の部分に、【意見1】と【意見2】の両方の内容を一文で書き加えることにしました。次の [] に当てはまる言葉を、「なお、市立図書館では」に続けて、三十字以内で書きなさい。

なお、市立図書館では、[]。

1. 出題の趣旨

- ・ 書こうとする事柄のまとめや順序を考えて文章を構成すること
- ・ 伝えたい事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように書くこと

文章を書く際には、伝えたい事実や事柄が読み手に分かりやすく伝わるように書く必要がある。そのためには、文章の構成を工夫したり、表現を工夫したりすることが大切である。

本問では、電子書籍について特集した図書だよりを書くという場面を設定した。書こうとする事柄のまとめや順序を考えて文章を構成したり、伝えたい事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように表現を工夫して書いたりすることを求めている。

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第1学年〕 B 書くこと

ウ 行事等の案内や報告をする文章を書くこと。

2. 解説

設問一

趣旨

書こうとする事柄のまとめや順序を考えて文章を構成することができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 B 書くこと

イ 集めた材料を分類するなどして整理するとともに、段落の役割を考えて文章を構成すること。 《構成》

■評価の観点

書く能力

解答類型

問題番号	解 答 類 型		正答
②	1	1と解答しているもの	◎
	2	2と解答しているもの	
	3	3と解答しているもの	
	4	4と解答しているもの	
	99	上記以外の解答	
	0	無解答	

■解答類型について

○ 【解答類型1】は、電子書籍に関する内容がどのように示されているかや、項目と項目とがどのような関係にあるかが理解できていないものと考えられる。

- 【解答類型 2】は、書こうとする事柄のまとまりや順序が理解できている。【図書だよりの下書き】には、読み手により分かりやすく伝えるために、電子書籍についての複数の情報が、問いとそれに答える形で項目立てて示されている。また、その項目は、電子書籍のことを詳しく知らない人が見ても分かりやすい順序になるように工夫されている。
- 【解答類型 3】は、項目の意味が理解できていないものと考えられる。
- 【解答類型 4】は、見出しの意味が理解できていないものと考えられる。

なお、選択肢 1, 3, 4については、目的や意図によっては、このように書く場合もある。

設問二

趣旨

伝えたい事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように書くことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 B 書くこと

ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。 《記述》

■評価の観点

書く能力

解答類型

問題番号	解答類型	正答	
②	二	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 【意見 1】と【意見 2】の両方の内容を取り入れて書いている。 ② 「なお、市立図書館では、」に適切に続けて、伝えたいことが分かるように書いている。 ③ 三十字以内の一文で書いている。	
	1	条件①, ②, ③を満たして解答しているもの	◎
	2	条件①, ②を満たし, 条件③を満たさないで解答しているもの	
	3	条件①, ③を満たし, 条件②を満たさないで解答しているもの	
	4	条件②, ③を満たし, 条件①を満たさないで解答しているもの	
	99	上記以外の解答	
	0	無解答	

■解答類型について

- 【解答類型1】は、伝えたい事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように書くことができている。本設問では、「パソコンを利用するには、受付で申し込めばよい」という内容と、「パソコンは、数に限りがある」という内容とを適切に組み合わせた上で、「なお、市立図書館では、」に続く形で書く必要がある。具体的な例としては、以下のようなものがある。

(例)

- ・ (なお、市立図書館では、) 受付で申し込めばパソコンを利用できますが、数に限りがあります。(。) (30字)
- ・ (なお、市立図書館では、) 受付で申し込んでから台数限定のパソコンを利用します。(。) (25字)
- ・ (なお、市立図書館では、) 利用できるパソコンの数は限られ、受付で申し込む必要があります。(。) (30字)

- 【解答類型2】は、三十字以内の一文で書くことに課題がある。具体的な例としては、以下のようなものがある。

(例)

- ・ (なお、市立図書館では、) パソコンを利用する際は受付で申し込みます。数に限りがあります。(。) (30字)

本設問では、ある事柄を述べたあとに他の事柄を付け加える働きをもつ「なお」という言葉を用いた一文を書くことを求めている。

- 【解答類型3】は、書き出しとの関係を考え、伝えたいことが分かるように書くことに課題がある。具体的な例としては、以下のようなものがある。

(例)

- ・ (なお、市立図書館では、) 数は限られますが、受付で申し込めばパソコンが利用できるから。(。) (29字)

- 【解答類型4】は、二つある意見の両方の内容を取り入れて書くことに課題がある。具体的な例としては、以下のようなものがある。

(例)

- ・ (なお、市立図書館では、) 受付で申し込めばパソコンを利用することができます。(。) (24字)
- ・ (なお、市立図書館では、) パソコンの数に限りがあります。(。) (14字)

国語A 3 文学的な文章を読む（「少年」）

3 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「ここまでのあらずじ」 七歳の保吉は父親と玩具屋を訪れ、店主から幻灯の映し方（ガラス板の画を光でスクリーンに映す機械の使い方）を聞いている。

「あのぼんやりしているのはレンズのピントを合わせさせずれば——この前にあるレンズですな。すぐにこちらのとおり、はつきりなります。」

主人はもう一度おまじ腰になった。と同時にしゃぼん玉はみるみる一枚の風景画に変わった。もともとも日本の風景画ではない。水路の両側に家々のそびえた、どこか西洋の風景画である。時刻はもう日の暮れに近いころである。三月は右手の家々の空にかすかに光を放っている。その三月も、家々も、家々の窓の薔薇の花も、ひっそりとたたえた水の上へ鮮やかに影を落とす。人影はもろろん、見わたしたところかもめ一羽浮かんでいない。水はただ突き当たりの橋の下へまっすぐにひとすじつづいている。

「イタリヤのベニス^{ベニス}の風景でございます。」

三十年後の保吉にヴェネチアの魅力を教えたのはダンズンチオの小説である。けれども当時の保吉は、この家々だの水路だのにただたよりのない寂しさを感した。彼の愛する風景は、大きい丹塗りの観音堂の前に無数の地の飛ぶ浅草である。あるいはまた高い時計台の下に鉄道馬車の通る銀座である。それらの風景に比べると、この家々だの水路だのは、なんという寂しさに満ちているのである。鉄道馬車や地は見えずともよい。せめてはむこうの橋の上に一列の汽車でも通っていたら、——ちやうどこう思ったとたんである。大きいリボンをした少女が一人、右手に並んだ窓の一つから突然小さい顔を出した。どの窓かははつきり覚えていない。しかしだいたい三月月の下の窓だったことだけはたしかである。少女は顔を出したと思うと、さらにその顔をこちらへむけた。それから——遠目にも愛くるしい顔に疑い余地のないほほえみを浮かべた！が、それは掛け値のない「一秒の間でできごとである。思わず「おや」と目を見はつた時には、少女はもういつの間にか窓の中へ姿を隠したのである。窓はどの窓も同じように人気のない窓かけを垂らしている。……

「さあ、もう映しかたはわかっただろう？」

父の言葉はぼんやりとた彼を現実の世界へ呼びもどした。父は葉巻をくわえたまま、退屈そうに後ろにたたずんでいる。玩具屋の外の往来もあいかわらず人通りを絶たないらしい。主人も——きれいに髪を分けた主人は小手調べをすませた手品師のように、妙に蒼白い頬のあたりへ満足的微笑をたたよわせている。保吉は急にこの幻灯を一刻も早く彼の部屋へ持って帰りたいと思いだした。……

保吉はその晩父といっしょに蠟を引いた布の上へ、もう一度ヴェネチアの風景を映した。中空の三月月、両側の家々、家々の窓の薔薇の花を映したとすじの水路の水の光、——それは昔前に見たかとおりである。が、あの愛くるしい少女だけはどこしたのか今度は顔を出さな。窓という窓はいつまで待っても、だらりと下がった窓かけの後ろに家々の秘密を封じている。保吉はとうとう待ち遠しさにたえかね、ランプの具合などを気にしていた父へ懇願するように話しかけた。

「あの女の子はどうして出ないの？」

「女の子？ どこかに女の子がいるのかい？」

父は保吉の問いの意味さえ、はつきりわからない様子である。

「ううん、いはいないけれど、顔だけ窓から出したじやないの？」

「いつさ？」

「玩具屋の壁へ映した時に。」



参考〈幻灯〉

「あの時も女の子なんぞは出やしないさ。」

「だつて顔を出したのが見えたんだもの。」

「何を言っている？」

父はなんと思つたか保吉の額へ手のひらをやつた。それから急に保吉にもつけ景気とわかる大声を出した。

②「さあ、今度は何を映そう？」

けれども保吉は耳にもかけず、ヴェネチアの風景をながめつづけた。窓は薄明るい水路の水に静かな窓かけを映している。しかしいつかはどこかの窓から、大きいリボンをした少女が一人、突然顔を出さぬものでもない。——彼はこう考えると、名状のできぬなつかしさを感した。同時に従来知らなかった、あるうれしい悲しさをも感した。あの画の幻灯の中にちらりと顔を出した少女は、じつさい何か超自然の霊が彼の目に姿を現わしたのであるか？ あるいはまた少年に起こりやすい幻觉の一種にすぎなかったのだろうか？ それはもろろん彼自身にも解決できないのにはちがいない。

（芥川龍之介「少年」による）

〔注1〕 ベニス＝ヴェネチア。イタリヤ北東部に位置する都市。「水の都」の別名をもつ。

〔注2〕 ダンズンチオ＝イタリヤの詩人、小説家、劇作家。

〔注3〕 丹塗り＝赤または朱色に塗ること。また、塗つてあるもの。

〔注4〕 鞆＝事情を述べた熱心に頼むこと。

〔注5〕 つけ景気＝実際はそうではないのに景気がよいように見せかけること。

〔注6〕 名状のできぬ＝言葉で言い表すことができない。

一——線部①「それは掛け値のない、一秒の間でできごとである」とありますが、「掛け値」はこの場合、物事を大げさに言うことを意味します。この部分についての説明として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- 1 少女の映つていた時間が、ほんのわずかな間のできごとであったということ。
 - 2 少女の映つていた時間が、ずいぶん長い間のできごとであったということ。
 - 3 ヴェネチアの風景の映つていた時間が、ほんのわずかな間のできごとであったということ。
 - 4 ヴェネチアの風景の映つていた時間が、ずいぶん長い間のできごとであったということ。
- 二——線部②「さあ、今度は何を映そう？」けれども保吉は耳にもかけず、ヴェネチアの風景をながめつづけた」とありますが、この場面についての説明として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。
- 1 父は保吉に幻灯を映すように促したが、保吉はヴェネチアの静かな風景がとても気に入ったので父の発言に答えずにいる。
 - 2 父はヴェネチアの風景の映り具合を気にしたが、保吉は自分が愛する浅草や銀座の風景の映り具合を気にしている。
 - 3 父は他の画を映し出すことを提案したが、保吉は少女がもう一度幻灯の画に現れるのではないかと考えている。
 - 4 父は少女が映っている画が他にもないか探そうとしたが、保吉は少女が再び現れることはないと言っている。

1. 出題の趣旨

- ・ 文脈の中における語句の意味を理解すること
- ・ 場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解すること

これまで読み継がれてきた代表的な作家の作品には、時代を超えた普遍的な価値がある。これらの作品に触れ、内容や表現のよさを味わうことを通して、ものの見方や考え方を広げたり、我が国の言語文化についての理解を深めたりすることができる。

本問では、芥川龍之介の「少年」を取り上げた。文脈の中における語句の意味を理解することや、場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解することを求めている。

なお、設問二は、平成27年度全国学力・学習状況調査【小学校】国語A⑥（正答率 67.7%）において、登場人物の相互関係を捉えることに課題が見られたことを踏まえて出題したものである。

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第2学年〕 C 読むこと

ア 詩歌や物語などを読み、内容や表現の仕方について感想を交流すること。

2. 解説

設問一

趣旨

文脈の中における語句の意味を理解しているかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 C 読むこと

ア 文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解すること。《語句の意味の理解》

■評価の観点

読む能力

解答類型

問題番号	解 答 類 型		正答	
③	—	1	1と解答しているもの	◎
		2	2と解答しているもの	
		3	3と解答しているもの	
		4	4と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

- 【解答類型1】は、文脈の中における語句の意味を理解している。「掛け価」はこの場合、物事を大げさに言うことを意味していて、「掛け価のない、二秒の間のできごと」とは、大げさに言うわけではないが本当に短い間のできごとであったことを意味している。また、「それは掛け価のない」の「それ」は、「大きいリボンをした少女が一人……ほほえみを浮かべた！」を指し示している。
- 【解答類型2】は、文脈の中における語句の意味を理解することに課題がある。「それ」が指し示す内容を捉えることはできているが、「掛け価のない、二秒の間のできごと」を、「ずいぶんと長い間のできごと」という意味に捉えたものと考えられる。
- 【解答類型3】は、文脈の中における語句の働きを理解することに課題がある。「掛け価のない、二秒の間のできごと」の意味を捉えることはできているが、「それ」が、「寂しさに満ち」たヴェネチアの家々や水路のことを指し示すと捉えたものと考えられる。
- 【解答類型4】は、文脈の中における語句の意味や働きを理解することに課題がある。「掛け価のない、二秒の間のできごと」を、「ずいぶんと長い間のできごと」という意味に捉え、「それ」が、「寂しさに満ち」たヴェネチアの家々や水路のことを指し示すと捉えたものと考えられる。

設問二

趣旨

場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解しているかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 C 読むこと

ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。

《文章の解釈》

■評価の観点

読む能力

解答類型

問題番号	解 答 類 型		正答	
3	二	1	1と解答しているもの	◎
		2	2と解答しているもの	
		3	3と解答しているもの	
		4	4と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

- 【解答類型1】は、保吉が父の発言に答えずにいた理由について、場面の展開や登場人物の描写を踏まえて捉えることに課題があり、登場人物の相互関係を捉えることができていない。父は、「さあ、今度は何を映そう？」と、保吉に他の画を映すことを提案している。しかし、保吉は「大きいリボンをした少女」を見付けるために「ヴェネチアの風景をながめつけ」、父の発言に答えずにいる。
- 【解答類型2】は、場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解することに課題があり、登場人物の相互関係を捉えることができていない。保吉が気にしていたのは、「大きいリボンをした少女」であり、「浅草や銀座の風景」のことを考えていたのは、本文の前半の場面である。また、父は「ヴェネチアの風景の映り具合」を気にしてはいない。
- 【解答類型3】は、場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解している。
——線部②のすぐ後に「いつかはどこかの窓から、大きいリボンをした少女が一人、突然顔を出さぬものでもない」とあることなどから、保吉が、「少女がもう一度幻灯の画に現れるのではないかと考えている」ことが分かる。
- 【解答類型4】は、場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解することに課題があり、登場人物の相互関係を捉えることができていない。父は、「さあ、今度は何を映そう？」と、保吉に他の画を映すことを提案している。保吉は、「いつかはどこかの窓から、大きいリボンをした少女が一人、突然顔を出さぬものでもない」と少女が現れることを期待している。

(参考)

○関連する問題

【小学校】

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H27A⑥	登場人物の関係についての説明として適切なものを選択する	67.7%	P. 28～P. 30	P. 41～P. 43

6

次は、「オオサンショウウオの夏」という題名の【物語の一部】です。これをよく読んで、あとの（問い）に答えましょう。

■物語のこれまでのあらすじ
主人公のぼくは、夏休みに広島のおじいちゃんの家に行くために、お父さんとふたりで車に乗って出かけました。

【物語の一部】

※1「アユ」：川魚の一種。 ※2「友釣り」：アユのつり方の一つ。

（阿部夏丸「オオサンショウウオの夏」による。）

（阿部夏丸「オオサンショウウオの夏」による。）

（問い） 次は、【物語の一部】をもとにした【人物関係図】です。図の中の□・ア・イの中に入る内容として最も適切なものを、あとの1から5までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。ただし、同じ番号は一度しか使いません。

【人物関係図】 □・ア・イは、矢印が向かう相手への思いや考えを表しています。

- 1 魚つりについて教えてやりたい。
- 2 いっしょに魚つりをしたい。
- 3 魚つりについて教えてもらいたい。
- 4 学校でアユの友つりをじまんにしてみたい。
- 5 魚つりに興味がないのでえんりよしたい。

3. 出典等

・芥川龍之介「少年」（『心に残るロングセラー 芥川龍之介 名作集』平成27年6月 世界文化社）による。

2. 解説

設問一

趣旨

書いた文章を読み返し、伝えたい内容が十分に表されているかを検討することができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 B 書くこと

エ 書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にすること。 《推敲》

■評価の観点

書く能力

解答類型

問題番号	解答類型		正答	
4	—	1	1と解答しているもの	◎
		2	2と解答しているもの	
		3	3と解答しているもの	
		4	4と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

- 【解答類型1】は、書き加える一文の役割が理解できていないものと考えられる。
- 【解答類型2】は、書き加える一文の内容について、疑問ではないことが理解できていないものと考えられる。
- 【解答類型3】は、書き加える一文の内容が事実であるということや、書き加える一文の役割が理解できていないものと考えられる。
- 【解答類型4】は、書いた文章を読み返し、伝えたい内容が十分に表されているかを検討することができる。書き加える前は、日本では緑茶が「生活そのものと深く結び付いた存在である」ことを伝えるための具体例が、「日常茶飯事」についてのみである。「茶の間」についての例を加えることで、「生活そのものと深く結び付いた存在」という内容がより説得力をもって伝わるようにしている。

設問二

趣旨

段落相互の関係に注意し、読みやすく分かりやすい文章にすることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 B 書くこと

エ 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して、読みやすく分かりやすい文章にすること。 《推敲》

■評価の観点

書く能力

解答類型

問題番号	解 答 類 型			正答
4	二	1	1と解答しているもの	◎
		2	2と解答しているもの	
		3	3と解答しているもの	
		4	4と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

- 【解答類型1】は、3段落に書かれた財務省の貿易統計のデータや農林水産省のウェブページの記載内容が、書き手の意見ではないということが理解できていないものと考えられる。
- 【解答類型2】は、段落相互の関係に注意し、読みやすく分かりやすい文章にできていない。1段落の最後で「緑茶の人气が海外で高まっている」と述べたことに対して、根拠となる財務省の貿易統計のデータや農林水産省のウェブページの記載内容を直後に示そうとしている。
- 【解答類型3】は、2段落に書かれた内容が、書き手の意見であるということが理解できていないものと考えられる。
- 【解答類型4】は、2段落に書かれた内容が、予想される反論ではなく、4段落につながる書き手の意見であるということが理解できていないものと考えられる。

3. 出典等

- ・【意見文の下書き】は、財務省ウェブページ、農林水産省ウェブページなどを参考にした。

国語 A 5 説明的な文章を読む

5 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。①から⑧は、段落の番号を表します。

① 紙の記録性という点でその代表的なものは、新聞紙でしょう。新聞紙は「新聞巻取紙」とも呼ばれます。そして、この新聞紙は、まさに、優れたもの、といつても過言ではないのです。

② 新聞紙で最も求められるのは、「強い」ということです。新聞は輪転機という機械で高速で印刷されます。また、カラー紙面では、印刷機に何度も紙を通しますから、弱い紙では、印刷中に切れてしまいかねません。

③ また、もうひとつ、「薄い」ということも求められています。新聞配達システムを考えた場合、配達員にかかる負担は軽いほうがいいにきまつています。しかも、新聞配達システムは、日本の新聞普及の大きな要素になっていきましたから、軽いということが非常に大切な要素になるわけです。かつて1平方メートル当たり52グラム前後でしたが、現在では約40グラムと、日本の新聞紙はほとんど薄くなつていき、さらに軽い紙の研究が進められています。

④ この他にも、新聞紙に求められていることがあります。「文字が透けない」ことです。つまり、「裏が透けない」ことも新聞紙の大切な要素です。文字が透けてしまつては、読みづらくてしょうがありません。

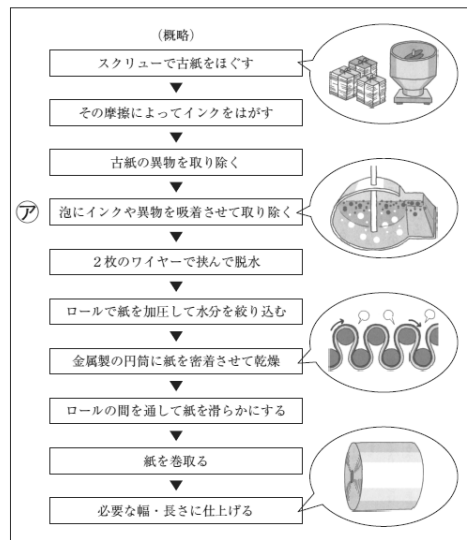
⑤ さらに、別の視点から「古紙」利用の推進ということも進められています。これは、環境保護の面から言われていることで、いまでは、新聞紙の原料のうち70〜75%程度は古紙を使っています。1998年（平成10年）には、古紙100%の新聞紙も登場しました。この他、「表面が平ら」であることも必要要素とされています。

⑥ そして、このようなきわめて難しい要素を満たしているのは日本の新聞紙だけ、といつても過言ではありません。それだけ、日本人は新聞をよく読んでいた国民といえ、新聞に対するニーズも強く、新聞紙もまた、その要求に応えるために高度な技術を駆使して作られているといえます。その意味で日本の新聞紙というのは、トップクラスの、「ハイテク技術製品」といえるのではないのでしょうか。

⑦ 新聞紙の製造工程は、回転するスクリーンで古紙をほぐしながら、摩擦によってインクをはがします（離解工程）。そして、古紙の異物を取り除き（粗選工程）、脱墨工程に入ります。これは、空気を吹き込んで泡をたて、泡にインクや異物を吸着させて取り除くものです。

⑧ ここまでが、古紙処理の工程で、次に紙製造工程に入ります。ここでは、まず、噴射された原料を、プラスチック製の網でできた2枚のワイヤーで挟んで脱水します（脱水工程）。そして、ロールとロールで紙を加圧して水分を絞り込み（搾水工程）、蒸気で加圧した金属製の円筒に紙を密着させて乾燥させ（乾燥工程）、仕上げ工程に入ります。ここでは、ロールの間を通して紙を滑らかにし（カレンダー）、紙を巻取ります（リール）。そして、必要な幅・長さ仕上げ（ワインダー）、大きなロールとして出荷します。

【新聞紙の製造工程】



⑥ 段落について説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 ①段落から⑤段落までと異なる新たな内容を示し、新聞紙の製造方法の具体的な例について述べている。
- 2 ①段落で提起された問題への答えとなる情報を示し、新聞紙の活用の具体的な例について述べている。
- 3 ⑤段落で記された内容を否定し、新聞紙の新たな利用の仕方について自分の考えを述べている。
- 4 ②段落から⑤段落までの内容をもとに、日本の新聞紙の製造技術について自分の考えを述べている。

二 【新聞紙の製造工程】の⑦「泡にインクや異物を吸着させて取り除く」は、どの製造工程に当たりますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 離解工程
- 2 粗選工程
- 3 脱墨工程
- 4 脱水工程

1. 出題の趣旨

- ・ 段落が文章全体の中で果たす役割を捉え、内容の理解に役立てること
- ・ 文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えること

説明的な文章は、論の展開の中心となる部分とそれを支える例示や引用などの付加的な部分とが組み合わされていたり、事実を述べた部分と意見を述べた部分とで構成されていたりする。文章を読む際には、段落ごとに内容を捉えたり、段落相互の関係を正しく押さえたりしながら、さらに大きな意味のまとまりごとに、文章全体における役割を捉えることが大切である。また、図表などを伴う文章を読む際には、文章と図表などとを関連させながら、書き手の伝えたい内容を捉えることも重要である。

本問では、新聞紙の製造工程などを紹介する説明的な文章を取り上げた。段落が文章全体の中で果たす役割を捉えたり、図表が文章のどの部分と関連しているのかを確認したりしながら内容を理解することを求めている。

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第1学年〕 C 読むこと

イ 文章と図表などとの関連を考えながら、説明や記録の文章を読むこと。

2. 解説

設問一

趣旨

段落が文章全体の中で果たす役割を捉え、内容の理解に役立てることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 C 読むこと

イ 文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。 《文章の解釈》

■評価の観点

読む能力

解答類型

問題番号	解 答 類 型		正答		
5	—	1	1と解答しているもの		
		2	2と解答しているもの		
		3	3と解答しているもの		
		4	4と解答しているもの		◎
		99	上記以外の解答		
		0	無解答		

■解答類型について

- 【解答類型1】は、段落が文章全体の中で果たす役割を捉え、内容の理解に役立てることに課題がある。〔6〕段落では、〔2〕段落から〔5〕段落までの内容を基にした自分の考えを述べており、〔1〕段落から〔5〕段落までと異なる新たな内容を示したものではない。また、新聞紙の製造方法の具体的な例については述べていない。
- 【解答類型2】は、段落が文章全体の中で果たす役割を捉え、内容の理解に役立てることに課題がある。〔6〕段落では、日本の新聞紙の製造技術について自分の考えを述べており、提起された問題への答えとなる情報を示したものではない。また、新聞紙の活用の具体例として「古紙」の利用を取り上げているのは〔5〕段落である。
- 【解答類型3】は、段落が文章全体の中で果たす役割を捉え、内容の理解に役立てることに課題がある。〔5〕段落で述べている「古紙」の利用などについて、〔6〕段落で否定してはいない。また、新聞紙の新たな利用の仕方についての自分の考えは述べていない。
- 【解答類型4】は、段落が文章全体の中で果たす役割を捉え、内容の理解に役立てることができている。日本の新聞紙がどのように優れているのかを、〔2〕段落から〔5〕段落で述べている。それらを根拠として、〔6〕段落で「“ハイテク技術製品”といえる」と自分の考えを述べている。

設問二

趣旨

文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 C 読むこと

イ 文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。 《文章の解釈》

■評価の観点

読む能力

解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
〔5〕	二	1	1と解答しているもの	◎
		2	2と解答しているもの	
		3	3と解答しているもの	
		4	4と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

- 【解答類型1, 2, 4】は、文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えることに課題がある。7・8段落には、新聞紙の製造工程が具体的に説明されている。さらに、それを補う図表として【新聞紙の製造工程】が示されている。図表が文章のどの部分と関連しているのかを確認しながら読むと、【新聞紙の製造工程】にある「スクリーンで古紙をほぐす」と「その摩擦によってインクをはがす」が「離解工程」であり、「古紙の異物を取り除く」が「粗選工程」であり、「2枚のワイヤーで挟んで脱水」が「脱水工程」であることが分かる。

- 【解答類型3】は、文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えることができている。7段落の「これは、空気を吹き込んで泡をたて、泡にインクや異物を吸着させて取り除く」の「これ」は、「脱墨工程」を指し示している。そのため、【新聞紙の製造工程】の㊦「泡にインクや異物を吸着させて取り除く」は、「脱墨工程」であることが分かる。

3. 出典等

- ・半田伸一監修『おもしろサイエンス 紙の科学』（平成23年10月 日刊工業新聞社）による。

国語A 6 話し合いをする

6 谷さんの学級では、バスの座席の決め方について話し合っています。次は、【話し合いの一部】と司会の谷さんがとっている【メモの一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【話し合いの一部】

谷 この時間は、来月行われる遠足のときに乗るバスの座席の決め方について話し合います。どのように座席を決めればよいかについて意見を述べてください。意見を述べる際には、その方法がよいと考える理由も言ってください。

山下 私はくじ引きがよいと思います。くじ引きは公平で、決めるのに時間がかからないからです。

横井 ふだん一緒に活動しているグループでまともな座席を決めたいと思います。その方が時間がかかりません。

黒川 私は、自分が座りたい場所の希望を出して、重なったら相談して決めればよいと思います。

平野 私はまず、仲のよい人同士でグループを作って、どの辺りにまともな座席のかをくじ引きで決めるのがよいと思います。仲のよい人と近い席だったら、バスの中が明るい雰囲気になります。

中山 平野さんの方法だと、仲のよい人たちが近くの座席になって、学級全体での交流が少なくなってしまうのではないですか。

横井 中山さんの意見についてですが、バスの中で全員が参加できるレクリエーションを考えれば、交流については問題ないと思います。

高田 バスの中でクイズ大会を行うのはどうでしょうか。クイズなら、学級の全員が楽しめると思います。

谷 レクリエーションについては、するかしないかも含めて、あとで話し合うことにしましょう。他に意見がある人はいますか。

木村 私は、座席を担当の先生に決めてもらうのが一番よいと思うのですが、どうでしょうか。

谷 いろいろな意見が出たので、一度まとめたと思います。その前に確認したいことがあります。黒川さんと木村さんは、

【メモの一部】

方法	理由
・山下さん くじ引き	公平 時間がかからない
・横井さん グループごと	時間がかからない
・黒川さん 座りたい場所 重なったら相談	
・平野さん 仲のよい人のグループ 場所はくじ引き	明るくなる
・木村さん 先生が決める	

- 1 話し合いの目的に沿った発言に続き、話の内容を短くまとめて書いている。
- 2 話し合いの目的からそれた発言も取り上げ、全て話したとおりに書いている。
- 3 話し合いの目的に沿った発言から、あとで質問したい内容を選んで書いている。
- 4 話し合いの目的からそれた発言も取り上げ、誰の発言かが分かるように書いている。

二 谷さんは、【メモの一部】を見て、黒川さんと木村さんに確認しなければならないことがあることに気がきました。【話し合いの一部】の [] で、谷さんはどのような発言をすると思いますか。「黒川さんと木村さんは」に続けて、実際に話すように書きなさい。

1. 出題の趣旨

- ・ 話合いの話題や方向を捉えること
- ・ 話合いの話題や方向を捉えて的確に話すこと

話合いをする際には、話合いの話題や方向を捉えて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめていくことが大切である。その際、話の要点をメモしながら聞いたり、必要に応じて質問したりしながら進めることも重要である。

本問では、バスの座席の決め方について話し合っている場面を設定した。司会が、様々な意見をどのようにメモに整理しているかや、そのメモを手掛かりに、話合いの中で不足している内容を補うためにどのように発言すればよいかについて考えることを求めている。

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第2学年〕 A 話すこと・聞くこと

イ 社会生活の中の話題について、司会や提案者などを立てて討論を行うこと。

2. 解説

設問一

趣旨

話合いの話題や方向を捉えることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 A 話すこと・聞くこと

オ 話合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること。 《話し合うこと》

■評価の観点

話す・聞く能力

解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
⑥	—	1	1と解答しているもの	◎
		2	2と解答しているもの	
		3	3と解答しているもの	
		4	4と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

- 【解答類型1】は、話合いの話題や方向を捉えることができている。司会の谷さんは、話合いの中で出てきた発言のうち、「バスの座席の決め方」という話合いの目的に沿った発言を短くまとめてメモしている。
- 【解答類型2, 4】は、何のために、何について話し合っているのかという話合いの目的や話題を正しく捉えることに課題があると考えられる。
- 【解答類型3】は、話合いの目的は捉えているが、司会である谷さんが、どのような意図でメモをとっているのかを捉えることに課題があると考えられる。

設問二

趣旨

話合いの話題や方向を捉えて的確に話すことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

[第1学年] A 話すこと・聞くこと

オ 話合いの話題や方向をとらえて的確に話したり,相手の発言を注意して聞いたりして,自分の考えをまとめること。 《話し合うこと》

■評価の観点

話す・聞く能力

解答類型

問題番号	解答類型	正答	
6	二	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 黒川さんと木村さんのそれぞれの理由を確認しなければならないことが分かるように書いている。 ② 「黒川さんと木村さんは、」に続けて、実際に話すように適切に書いている。	
	1	条件①, ②を満たして解答しているもの	◎
	2	条件①を満たし, 条件②を満たさないで解答しているもの	
	3	条件②を満たし, 条件①を満たさないで解答しているもの	
	99	上記以外の解答	
	0	無解答	

■解答類型について

- 【解答類型1】は、話合いの話題や方向を捉えて的確に話すことができている。司会の谷さんは、話合いの最初に「意見を述べる際には、その方法がよいと考える理由も言ってください。」と言っているが、黒川さんと木村さんは、自分の提案について、なぜその方法がよいと思うのかという理由を言っていないということが【メモの一部】からも分かる。具体的な例としては、以下のようなものがある。

(例)

- ・ (黒川さんと木村さんは,) なぜそれぞれの方法がよいと考えたのですか (。)
- ・ (黒川さんと木村さんは,) それぞれのその方法がよいと考えた理由を述べてください (。)

- 【解答類型2】は、「黒川さんと木村さんは,」に続けて、相手に確認するような発言をすることに課題がある。具体的な例としては、以下のようなものがある。

(例)

- ・ (黒川さんと木村さんは,) それぞれの理由を確認しなければならないこと (。)

- 【解答類型3】は、黒川さんと木村さんの発言に理由が不足していることを捉えることに課題がある。具体的な例としては、以下のようなものがある。

(例)

- ・ (黒川さんと木村さんは,) どのように考えますか (。)
- ・ (黒川さんと木村さんは,) 他の人の意見についてどう思いますか (。)

国語A 7 ニュースを見る

- 1 前に述べたことを受けて自分の意見につなぐ働き。
- 2 前に述べたことを切り替えて次の話題につなぐ働き。
- 3 前に述べたことは反対のことにつなぐ働き。
- 4 前に述べたことを言い換える言葉につなぐ働き。

二 高橋さんは、「天気予報」の——線部②「それでは」がどのような働きをしているのかについて考えています。——線部②「それでは」の働きとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

【電子辞書】

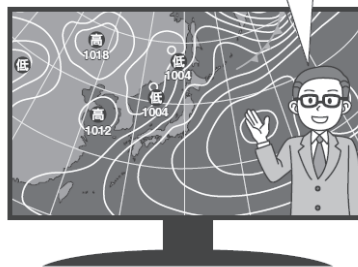
はないかだ【花筏】〔名〕

- ① ミズキ科に属する落葉低木の名前。葉の真ん中に花が咲く。
- ② 紋所もんじろの名。いかだに花を取り合わせた図柄のもの。
- ③ 散った桜の花びらが水面に浮き、連なって流れていく様子。
- ④ 白粉のつきや伸びをよくするために用いる油性香料の名。

一 高橋さんは、「天気予報」の——線部①「ハナイカダ」という言葉を読み、どのようなのかを電子辞書で調べています。——線部①「ハナイカダ」の意味として最も適切なものを、次の【電子辞書】の①から④までの中から一つ選びなさい。

【天気予報】

こんばんは。春らしい陽気が続く中、桜の開花に合わせてお花見をする人が増えていますが、今夜は所により強い風が吹くことが予想されます。そのため、明日は場所によってはハナイカダが見られるでしょう。①それでは、②各地の天気をお伝えします。



7 次は、高橋さんが見ているテレビの【天気予報】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

1. 出題の趣旨

- ・ 語句の辞書的な意味を踏まえて文脈上の意味を捉えること
- ・ 接続詞の働きについて理解すること

語句の文脈上の意味は、辞書的な意味を踏まえ、思考力や想像力を働かせて文脈において具体的かつ個別的に捉えることが大切である。また、語句が文章の中で果たしている役割を考へることも重要である。さらに、語感を磨くためには、日常生活の中で新しく出合った言葉を取り上げ、辞書にある様々な意味から文脈上の意味を考へることを習慣化させることが大切である。

本問では、テレビの【天気予報】の一場面で示された「ハナイカダ」という言葉について、辞書にある様々な意味を踏まえて文脈上の意味を捉えることや、「それでは」という接続詞が、この場面でどのような働きをしているのかについて考へることを求めている。

2. 解説

設問一

趣旨

語句の辞書的な意味を踏まえて文脈上の意味を捉えることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ

(イ) 語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意し，語感を磨くこと。

■評価の観点

言語についての知識・理解・技能

解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
7	—	1	①と解答しているもの	◎
		2	②と解答しているもの	
		3	③と解答しているもの	
		4	④と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

- 【解答類型1】は，【天気予報】の内容にある「春らしい陽気が続く」，「桜の開花」，「お花見」などの表現と，【電子辞書】にある「花が咲く」とを関連させて意味を捉えたものと考えられる。
- 【解答類型2】は，【天気予報】の内容が，【電子辞書】にある「紋所の名」や「図柄」などと関連していないことを捉えることができていないものと考えられる。
- 【解答類型3】は，語句の辞書的な意味を踏まえて文脈上の意味を捉えることができている。【天気予報】の内容にある「桜の開花」，「強い風が吹く」，「そのため，……が見られるでしょう。」などの部分から，「ハナイカダ」が春の時期に強い風によって生じる現象であることを捉え，【電子辞書】にある③の意味と結び付けて考えることができている。
- 【解答類型4】は，【天気予報】の内容が，【電子辞書】にある「白粉」や「油性香料の名」などと関連していないことを捉えることができていないものと考えられる。

設問二

趣旨

接続詞の働きについて理解しているかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ

(エ) 単語の類別について理解し、指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などに注意すること。

■評価の観点

言語についての知識・理解・技能

解答類型

問題番号	解 答 類 型		正答	
7	二	1	1と解答しているもの	◎
		2	2と解答しているもの	
		3	3と解答しているもの	
		4	4と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

- 【解答類型1】は、「それでは」という接続詞が、順接の働きをしていると捉えたものと考えられる。
- 【解答類型2】は、接続詞の働きについて理解している。「それでは」という接続詞を使うことによって、それまで話題にしていた花見と風の話から、各地の具体的な天気へと話題を転換していることが理解できている。
- 【解答類型3】は、「それでは」という接続詞が、逆接の働きをしていると捉えたものと考えられる。
- 【解答類型4】は、「それでは」という接続詞が、前に述べたことを言い換える言葉になが働きをしていると捉えたものと考えられる。

3. 出典等

- ・【天気予報】は、気象庁ウェブページなどを参考にした。

国語A 8 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

8 次の一から六までの各問いに答えなさい。

一 次の1から3までの文中の――線部のカタカナを漢字に直し、楷書で書いてねいに書きなさい。

- 1 紙をひもで**タバ**ねる。
- 2 舞台の**マク**が上がる。
- 3 先制点を**ユル**す。

二 次の1から3までの文中の――線部の漢字の正しい読みをひらがなで書いてねいに書きなさい。

- 1 模型を作る。
- 2 池の水が**渾**る。
- 3 技を**磨**く。

三 次のアからキの文では、() の中の1から4までのうち、どれが最も適切ですか。それぞれ一つ選びなさい。

- ア 立場の異なる両者の主張は(1 臨機応変 2 終始一貫 3 先手必勝 4 共存共栄) して変わらず、最後まで結論が出なかった。
- イ 魚の中には群れを作って泳ぐ(1 習性 2 修正 3 集成 4 終成) をもつものがある。
- ウ 先生が私たちに大切なことを(1 申し上げた 2 申した 3 お言いました 4 おっしゃった)。
- エ 彼は(1 水気 2 せき 3 紙 4 くう) を切ったように話し始めた。
- オ 意見の折り合いを(1 たてる 2 かける 3 つける 4 なする)。
- カ わたしが健康になったのは、(1 ひとえに 2 ほのかに 3 いちずに 4 むやみに) 母のおかげです。
- キ 姉はみんなと一緒に運動することが好きだ。(1 もしくは 2 いわば 3 要するに 4 一方、妹は一人で本を読むことが好きだ)。

四 次の各問いに答えなさい。

1 次の言葉の意味として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

心を打たれる

- 1 遠慮する。
- 2 感動する。
- 3 一つのこと集中する。
- 4 あれこれと心配する。

2 「心を打たれた。」を文末に用いた一文を書きなさい。なお「心を打たれた」の主語を明らかにした上で、「誰(何)の」というようなこと、「心を打たれた」のかが分かるように書くこと。

五 書写の時間に、行書で「野花」という文字を書いた松田さんは、「作品」をよりよくするためにグループで助言し合っています。

この「作品」への助言として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

【作品】



- 1 ②の部分は筆脈を意識して、次の画へのつながりが分かるように書きましょう。
- 2 ④の部分は文字の全体大きさに気を付けて、偏よりも小さく書きましょう。
- 3 ③の部分は点画を省略せずに、楷書で書くときの筆順どおりに横画を最初に書きましょう。
- 4 ⑤の部分は左下に向けて払い、次の字につながるように書きましょう。

六次は、中国の「韓非子」という本にある話【A】と、その現代語訳【B】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【A】

楚人に、盾と矛とをひきく者あり。これをほめていはく、「わが盾の堅きこと、よくとほすものなし」と。またその矛をほめていはく、「わが矛の利きこと、物においてとほざるなし」と。ある人はいはく、「子の矛をもつて、子の盾をとほさばいかん」と。その人、こたふることあたはざりき。

(竹内照夫「新釈漢文大系 第12巻 韓非子(下)」による)

【B】

楚の国の人で、盾と矛とを売る者がいた。その盾をほめて言うには、「わたしの盾の堅いことといったら、突き通せるものはない」と。また、その矛をほめて言うには、「わたしの矛の鋭いことといったら、どんなものでも突き通さないことはない」と。ある人が言うには、「あなたの矛で、あなたの盾を突き通したらどうなるか」と。その人は答えることができなかった。

1 線部「いはく」の意味を【B】の中から抜き出しなさい。

2 線部「とほざるなし」を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。

3 【A】の話から、つじつまが合わないという意味の「矛盾」という言葉が生まれました。この話の中で矛盾していることとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 楚の国の人、矛の鋭さと盾の堅さという長所を示しているのに、ある人は矛と盾の短所について質問したこと。
- 2 楚の国の人、自分が持ってきた盾の堅さをほめているのに、ある人は楚の国の人を持つている矛の鋭さをほめたこと。
- 3 楚の国の人、矛と盾という異なる使用目的をもった道具を売るために、それぞれの材料について説明したこと。
- 4 楚の国の人、自分が売っている盾と矛について、何も突き通させない盾とどのようなものも突き通せる矛とを言ったこと。

1. 出題の趣旨

- ・ 文脈に即して漢字を正しく書くこと
- ・ 文脈に即して漢字を正しく読むこと
- ・ 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと
- ・ 慣用句の意味を理解すること
- ・ 目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書くこと
- ・ 行書の基礎的な書き方を理解して書くこと
- ・ 古典の文章と現代語訳とを対応させて内容を捉えること
- ・ 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むこと
- ・ 古典に表れたものの見方や考え方を理解すること

- ・ 語句については、過去と同一の問題を出題している（設問三力）。
- ・ 慣用句については、意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができるかどうかについて出題している。設問四 1 は、平成30年度全国学力・学習状況調査【小学校】国語A〔6〕との関連を図った問題である。これまでの全国学力・学習状況調査の中学校の結果を見ると、慣用句の理解に一部課題があることから、児童生徒の実態をより丁寧に捉えて今後の学習指導の充実につなげるために共通の問題を出題している。設問四 2 は、平成27年度全国学力・学習状況調査【小学校】国語A〔2〕一（正答率 53.4%）において、文の中における主語を捉えることに課題が見られたことを踏まえて出題したものである（設問四）。
- ・ 書写については、行書の特徴を理解して書くことができるかどうかについて出題している（設問五）。
- ・ 伝統的な言語文化については、「矛盾」を取り上げ、古典の文章とその現代語訳を読み、古典に表れたものの見方や考え方に触れる問題を出題している（設問六）。

2. 解説

設問一

趣旨

文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)ウ

(イ) 学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。

■評価の観点

言語についての知識・理解・技能

解答類型

問題番号	解 答 類 型			正答
〔8〕	— 1	1	「束(ねる)」と解答しているもの	◎
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

	— 2	1	「幕」と解答しているもの	◎
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	
	— 3	1	「許(す)」と解答しているもの	◎
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

- 【解答類型1】は、「タバ(ねる)」を文脈に即して漢字で正しく書くことができている。「束」は、小学校第4学年の配当漢字である。
- 【解答類型1】は、「マク」を文脈に即して漢字で正しく書くことができている。「幕」は、小学校第6学年の配当漢字である。
- 【解答類型1】は、「ユル(す)」を文脈に即して漢字で正しく書くことができている。「許」は、小学校第5学年の配当漢字である。

設問二

趣旨

文脈に即して漢字を正しく読むことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)ウ

- (ア) 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むこと。

■評価の観点

言語についての知識・理解・技能

解答類型

問題番号	解 答 類 型			正答
⑧	二 1	1	「もけい」と解答しているもの	◎
		2	「もけい」のうち「も」だけ正しく解答しているもの	
		3	「もけい」のうち「けい」だけ正しく解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	
	二 2	1	「こお(る)」と解答しているもの	◎
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	
	二 3	1	「みが(く)」と解答しているもの	◎
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

1 【解答類型1】は、「模型」を文脈に即して正しく読むことができている。「模」は、小学校第6学年の配当漢字、「型」は、小学校第4学年（平成29年告示の小学校学習指導要領では、小学校第5学年）の配当漢字である。

【解答類型2】は、「模」について読むことはできているが、「模型」という語句の意味を理解して正しく読むことに課題がある。

【解答類型3】は、「型」について読むことはできているが、「模型」という語句の意味を理解して正しく読むことに課題がある。

2 【解答類型1】は、「凍（る）」を文脈に即して正しく読むことができている。「凍」は、学年別漢字配当表以外の常用漢字である。

3 【解答類型1】は、「磨（く）」を文脈に即して正しく読むことができている。「磨」は、学年別漢字配当表以外の常用漢字である。

設問三

趣旨

語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ

(ウ) 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話や文章の中の語彙について関心をもつこと。

〔第1学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ

(エ) 単語の類別について理解し、指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などに注意すること。

〔第2学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ

(ア) 話し言葉と書き言葉との違い、共通語と方言の果たす役割、敬語の働きなどについて理解すること。

〔第2学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ

(イ) 抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにすること。

■評価の観点

言語についての知識・理解・技能

解答類型

問題番号	解 答 類 型			正答
8	三 ア	1	1と解答しているもの	◎
		2	2と解答しているもの	
		3	3と解答しているもの	
		4	4と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

三 イ	1	1と解答しているもの	◎
	2	2と解答しているもの	
	3	3と解答しているもの	
	4	4と解答しているもの	
	99	上記以外の解答	
	0	無解答	
三 ウ	1	1と解答しているもの	◎
	2	2と解答しているもの	
	3	3と解答しているもの	
	4	4と解答しているもの	
	99	上記以外の解答	
	0	無解答	
三 エ	1	1と解答しているもの	◎
	2	2と解答しているもの	
	3	3と解答しているもの	
	4	4と解答しているもの	
	99	上記以外の解答	
	0	無解答	
三 オ	1	1と解答しているもの	◎
	2	2と解答しているもの	
	3	3と解答しているもの	
	4	4と解答しているもの	
	99	上記以外の解答	
	0	無解答	
三 カ	1	1と解答しているもの	◎
	2	2と解答しているもの	
	3	3と解答しているもの	
	4	4と解答しているもの	
	99	上記以外の解答	
	0	無解答	
三 キ	1	1と解答しているもの	◎
	2	2と解答しているもの	
	3	3と解答しているもの	
	4	4と解答しているもの	
	99	上記以外の解答	
	0	無解答	

■解答類型について

ア 【解答類型2】が正答である。「終始一貫」の意味や用法を正しく捉え、文脈に即して適切に使うことができている。「終始一貫」は、「始めから終わりまで同じ態度や考えで貫き通すこと」という意味をもつ。

【解答類型1】は、「終始一貫」の意味や用法を正しく捉え、文脈に即して適切に使うことに課題がある。また、「臨機応変」の意味や用法を正しく捉え、文脈に即して適切に使うことに課題がある。「臨機応変」は、「その時々場面や状況の変化に応じて適切な手段を講じること」という意味をもつ。

【解答類型3】は、「終始一貫」の意味や用法を正しく捉え、文脈に即して適切に使うことに課題がある。また、「先手必勝」の意味や用法を正しく捉え、文脈に即して適切に使うことに課題がある。「先手必勝」は、「ある局面に際して先手をとった側が必ず有利になるということ」という意味をもつ。

【解答類型4】は、「終始一貫」の意味や用法を正しく捉え、文脈に即して適切に使うことに課題がある。また、「共存共栄」の意味や用法を正しく捉え、文脈に即して適切に使うことに課題がある。「共存共栄」は、「共に生存し、共に繁栄すること」という意味をもつ。

イ 【解答類型1】が正答である。「シュウセイ」という言葉について、文脈に即して正しい漢字を使うことができている。「習性」は、「その種類の動物がもっている生活や行動の仕方」という意味をもつ。

【解答類型2】は、「シュウセイ」という言葉について、文脈に即して正しい漢字を使うことに課題がある。「修正」は、「不十分な点や不適当な点を正しく直すこと」という意味をもつ。

【解答類型3】は、「シュウセイ」という言葉について、文脈に即して正しい漢字を使うことに課題がある。「集成」は、「多くのものを集めて、一つにまとめること」という意味をもつ。

【解答類型4】は、「シュウセイ」という言葉について、文脈に即して正しい漢字を使うことに課題がある。「終成」は、「すっかりできあがること」という意味をもつ。

ウ 【解答類型4】が正答である。「言う」の尊敬語を適切に使うことができている。

【解答類型1～3】は、「言う」の尊敬語を適切に使うことに課題がある。

エ 【解答類型2】が正答である。「せきを切る」の意味や用法を正しく捉え、文脈に即して適切に使うことができている。「せきを切る」は、「抑えられていたものが一度にあふれ出る」という意味をもつ。

【解答類型1, 3, 4】は、「せきを切る」の意味や用法を正しく捉え、文脈に即して適切に使うことに課題がある。

オ 【解答類型3】が正答である。「折り合いをつける」の意味や用法を正しく捉え、文脈に即して適切に使うことができている。「折り合いをつける」は、「互いの意見が違う場合に譲り合って解決する」という意味をもつ。

【解答類型1, 2, 4】は、「折り合いをつける」の意味や用法を正しく捉え、文脈に即して適切に使うことに課題がある。

カ 【解答類型1】が正答である。「ひとえに」の意味や用法を正しく捉え、文脈に即して適切に使うことができている。「ひとえに」は、「ただそれだけが理由であるさま」という意味をもつ。

【解答類型2～4】は、「ひとえに」の意味や用法を正しく捉え、文脈に即して適切に使うことに課題がある。また、「ほのかに」、「いちずに」、「むやみに」のそれぞれの意味や用法を正しく捉え、文脈に即して適切に使うことに課題がある。

キ 【解答類型4】が正答である。「一方」の意味や用法を正しく捉え、文脈に即して適切に使うことができている。「一方」は、「もう一つの側では」という意味をもつ。

【解答類型1～3】は、「一方」の意味や用法を正しく捉え、文脈に即して適切に使うことに課題がある。また、「もしくは」、「いわば」、「要するに」のそれぞれの意味や用法を正しく捉え、文脈に即して適切に使うことに課題がある。

(参考)

○同一の問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H22A10三ウ	適切な語句を選択する（わたしが健康になったのは、ひとえに母のおかげです）	64.5%	P. 38～P. 44	P. 137～P. 150

設問四 1

趣旨

慣用句の意味を理解しているかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔小学校第3学年及び第4学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)ア

(イ) 長い間使われてきたことわざや慣用句，故事成語などの意味を知り，使うこと。

■評価の観点

言語についての知識・理解・技能

解答類型

問題番号	解答類型			正答
8	四 1	1	1と解答しているもの	◎
		2	2と解答しているもの	
		3	3と解答しているもの	
		4	4と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

○ 【解答類型1，3，4】は、「心を打たれる」の意味を理解していない。【解答類型1，3，4】の意味を表す「心」を用いた慣用句には、例えば次のようなものがある。「遠慮する」という意味をもつものは「心を置く」，「一つのことに集中する」という意味をもつものは「心を傾ける」，「あれこれと心配する」という意味をもつものは「心を痛める」。

○ 【解答類型2】は、「心を打たれる」の意味を理解している。「心を打たれる」は「感動する」，「深い感銘を受ける」という意味をもつ。

設問四 2

趣旨

目的に応じて文の成分の順序や照応，構成を考えて適切な文を書くことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ

(ウ) 文の中の文の成分の順序や照応，文の構成などについて考えること。

■評価の観点

言語についての知識・理解・技能

解答類型

問題番号	解答類型	正答	
8	四 2	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 「心を打たれた」の正しい意味を理解して書いている。 * 条件①は，設問四1で正答しているかどうかで判断する。 ② 「心を打たれた」の主語を明確にして書いている。 ③ 「誰(何)」のことに「心を打たれた」のかが分かるように書いている。 ④ 「どのようなこと」に「心を打たれた」のかが分かるように書いている。 ⑤ 一文で書いている。	
	1	条件①，②，③，④，⑤を満たして解答しているもの	◎
	2	条件①，②，③，④を満たし，条件⑤を満たさないで解答しているもの	
	3	条件①，②，③，⑤を満たし，条件④を満たさないで解答しているもの	
	4	条件①，②，④，⑤を満たし，条件③を満たさないで解答しているもの	
	5	条件①，③，④，⑤を満たし，条件②を満たさないで解答しているもの	
	6	条件②，③，④，⑤を満たし，条件①を満たさないで解答しているもの	
	99	上記以外の解答	
	0	無解答	

■解答類型について

○ 【解答類型1】は，目的に応じて文の成分の順序や照応，構成を考えて適切な文を書くことができている。具体的な例としては，以下のようなものがある。

(例)

- ・ 私は，スポーツ選手の努力する姿に（心を打たれた。）
- ・ 彼は，夕日の美しさに（心を打たれた。）

- 【解答類型2】は、一文で書くことに課題がある。主語、「誰(何)」、「どのようなこと」という三つの要素を関連付けて、一文の中に整理して書くことができていない。具体的な例としては、以下のようなものがある。

(例)

- ・ 彼女は、スポーツ選手として努力した。それで私は(心を打たれた。)
- ・ 夕日が沈みかけている。彼はその美しさに(心を打たれた。)

- 【解答類型3】は、「どのようなこと」に「心を打たれた」のかが分かるように書くことに課題がある。具体的な例としては、以下のようなものがある。

(例)

- ・ 私はスポーツ選手に(心を打たれた。)
- ・ 彼は夕日に(心を打たれた。)

- 【解答類型4】は、「誰(何)」の要素を明らかにして、適切に書くことに課題がある。具体的な例としては、以下のようなものがある。

(例)

- ・ 努力していることに私は(心を打たれた。)
- ・ 彼は美しさに(心を打たれた。)

- 【解答類型5】は、「心を打たれた」の主語を明確にして書くことに課題がある。具体的な例としては、以下のようなものがある。

(例)

- ・ スポーツ選手の努力する姿に(心を打たれた。)
- ・ 夕日の美しさに(心を打たれた。)

- 【解答類型6】は、「心を打たれた」の正しい意味を理解して書くことに課題がある。主語、「誰(何)」、「どのようなこと」という三つの要素を関連付けて、一文の中に整理して書くことはできている。

(参考)

○関連する問題

【小学校】

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H27A[2]一	文の主語として適切なものを選択する	53.4%	P. 17～P. 19	P. 28～P. 31

2

次の一と二の問いに答えましょう。

一 1と2の文の主語として適切なものを、アからエまでの中からそれぞれ一つ選んで、その記号を書きましょう。

1 ア 降っていた雨が、急にやんだ。
イ
ウ エ

2 ア 多くの妹の誕生日は、五月二日だ。
イ
ウ エ

二 (略)

【中学校】

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H24A[7]≡ウ	適切な語句を選択する（弟子を手塩に <u>かけて</u> 育てる）	62.3%	P. 34～P. 49	P. 151～P. 176
H25A[8]≡エ	適切な語句を選択する（直前になって、二の足を <u>踏む</u> ）	85.1%	P. 38～P. 48	P. 47～P. 57
H26A[8]≡キ	適切な語句を選択する（忙しい兄は、休日に <u>のびのびと羽を伸ばす</u> ）	92.2%	P. 41～P. 50	P. 47～P. 57
H27A[9]≡イ	適切な語句を選択する（彼がこの討論の <u>口火</u> を切った）	56.0%	P. 43～P. 54	P. 48～P. 60
H28A[9]≡ウ	適切な語句を選択する（弟子を手塩に <u>かけて</u> 育てる）	60.0%	P. 42～P. 52	P. 51～P. 62
H28A[9]≡オ	適切な語句を選択する（会長候補として、白羽の矢が <u>立つ</u> ）	54.7%	P. 42～P. 52	P. 51～P. 62
H29A[9]≡ア	適切な語句を選択する（ <u>えり</u> を正して話を聞く）	77.3%	P. 44～P. 54	P. 54～P. 66

設問五

趣旨

行書の基礎的な書き方を理解して書くことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

- 〔第1学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(2)
イ 漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書くこと。

■評価の観点

言語についての知識・理解・技能

解答類型

問題番号	解 答 類 型		正答	
⑧	五	1	1と解答しているもの	◎
		2	2と解答しているもの	
		3	3と解答しているもの	
		4	4と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

- 【解答類型1】は、行書の基礎的な書き方が理解できている。点や画の形が丸みを帯びる場合があること、点や画の方向及び止めや払いの形が変わる場合があること、点や画が連続したり省略されたりする場合があること、筆順が変わる場合があることなどが行書の特徴であることを踏まえ、㊦の部分について次の画へのつながりが分かるように書くことを助言している。
- 【解答類型2】は、文字全体のバランスの捉え方に課題がある。【作品】の「野」は、文字全体の大きさを踏まえた偏と㊦の隣のバランスがとれている。
- 【解答類型3】は、行書の基礎的な書き方が理解できていないものと考えられる。【作品】の「花」は、㊦の「くさかんむり」の部分に点画の省略はなく、筆順を変えて次の画につなげて書いている。
- 【解答類型4】は、行書の基礎的な書き方が理解できていないものと考えられる。㊦は最後の画ではなく、右上の次の画へのつながりを意識して書いている。

設問六 1**趣旨**

古典の文章と現代語訳とを対応させて内容を捉えることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)ア

(イ) 古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像すること。

■評価の観点

言語についての知識・理解・技能

解答類型

問題番号	解 答 類 型			正答
⑧ 六 1	1	「言うには」と解答しているもの * 「言う」、「言うに」と解答しているものも正答とする。		◎
	2	「いはく」を現代仮名遣いに直して解答しているもの		
	99	上記以外の解答		
	0	無解答		

■解答類型について

- 【解答類型1】は、古典の文章と現代語訳とを対応させて内容を捉えることができている。
【A】の「いはく」は、【B】の「言うには」と対応している。
- 【解答類型2】は、意味を書くことと、現代仮名遣いに直すこととを混同している。

設問六 2**趣旨**

歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)ア

(ア) 文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読して、古典特有のリズムを味わいながら、古典の世界に触れること。

■評価の観点

言語についての知識・理解・技能

解答類型

問題番号		解 答 類 型			正答
8	六 2	1	「とおさざるなし」と解答しているもの	◎	
		2	「とほさざるなし」の意味を解答しているもの		
		99	上記以外の解答		
		0	無解答		

■解答類型について

- 【解答類型1】は、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに正しく直して読むことができている。「とほさざるなし」の「ほ」を、現代仮名遣いでは「お」にすることが理解できている。
- 【解答類型2】は、意味を書くことと、現代仮名遣いに直すこととを混同している。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H24A7七2	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(あ らはず)	93.0%	P. 34～P. 49	P. 151～P. 176
H25A8七2	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(に ほふ)	83.8%	P. 38～P. 48	P. 47～P. 57
H26A8五1	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(ま うけて)	80.7%	P. 41～P. 50	P. 47～P. 57
H28A9七1	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(追 ひし)	80.5%	P. 42～P. 52	P. 51～P. 62

設問六 3

趣旨

古典に表れたものの見方や考え方を理解しているかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)ア

(イ) 古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像すること。

■評価の観点

言語についての知識・理解・技能

解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
8	六 3	1	1と解答しているもの	◎
		2	2と解答しているもの	
		3	3と解答しているもの	
		4	4と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

- 【解答類型1】は、「ある人」の質問の内容が理解できていないものと考えられる。「あなたの矛で、あなたの盾を突き通したらどうなるか。」というのは、矛と盾の長所を同時に生かすことができるのかを問う質問である。
- 【解答類型2】は、話の中で誰がどのようなことを言っているのかが理解できていないものと考えられる。矛の鋭さをほめたのは、盾の堅さをほめたのと同じ「楚の国の人」である。
- 【解答類型3】は、「楚の国の人」の説明の内容が理解できていないものと考えられる。「楚の国の人」は矛と盾それぞれの長所を説明している。
- 【解答類型4】は、古典に表れたものの見方や考え方を理解している。「楚の国の人」と「ある人」の言葉や行動を整理して考えることができている。

3. 出典等

・六の【A】は、竹内照夫『新釈漢文大系 第12巻 韓非子（下）』（昭和39年5月 明治書院）による。

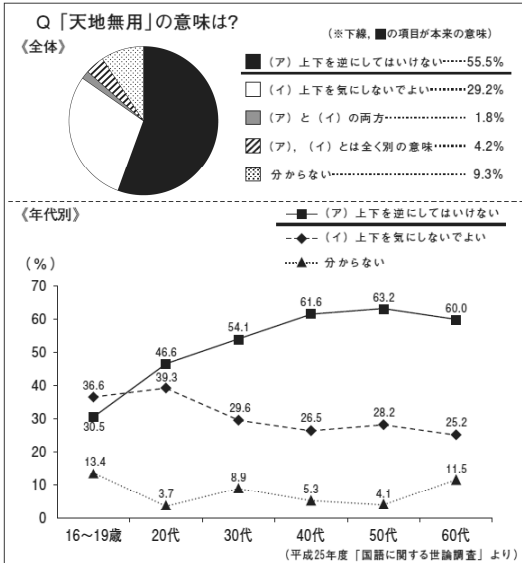
Ⅲ 調査問題の解説

（出題の趣旨，解説，解答類型等）

B 主として「活用」に関する問題

国語B 1 説明的な文章を読む

【資料】



全体では、本来の意味である(ア)「上下を逆にしてはいけない」を選んだ人の割合(55.5%)が、本来の意味ではない(イ)「上下を気にしないでよい」を選んだ人の割合(29.2%)を26ポイント上回っています。また、(ア)と(イ)の両方を選んだ人の割合(1.8%)も、(ア)を選んだ人の割合(55.5%)の約3割に達しています。また、(ア)と(イ)とは全く別の意味(4.2%)を選んだ人の割合も、(ア)を選んだ人の割合(55.5%)の約7割に達しています。また、分からない(9.3%)を選んだ人の割合も、(ア)を選んだ人の割合(55.5%)の約16%に達しています。

年代別を見ると、16~19歳を除く全ての年代で(ア)の割合が高いものの、最も低い60代でも25.2%の人が(イ)を選んでおり、どの年代でも4人に1人以上の割合で、本来の意味ではない(イ)を選んでいることが読み取れます。「天地無用」は、本来、誤解が誘われてはならない注意喚起の言葉ですから、見過ごせない結果であるといえるかもしれません。

「天地無用」は、「荷物の上下を逆にしてはいけない」という意味です。段ボール箱の荷物などに、赤地に白抜きで「天地無用」と書かれたシールが貼られていることがあります。しかし、それだけでは意味が分からない人が少なからずいるからでしょうか、最近では、記号やイラストを用いて視覚に訴えたり、「UP」「この面を上」などといった情報を書き足したりして、より分かりやすく示そうとする例が多くなっています。

平成25年度の「国語に関する世論調査」で、「天地無用の荷物」という例文を挙げて、その意味を尋ねました。結果は次のとおりです。

全体では、本来の意味である(ア)「上下を逆にしてはいけない」を選んだ人の割合(55.5%)が、本来の意味ではない(イ)「上下を気にしないでよい」を選んだ人の割合(29.2%)を26ポイント上回っています。また、(ア)と(イ)の両方を選んだ人の割合(1.8%)も、(ア)を選んだ人の割合(55.5%)の約3割に達しています。また、(ア)と(イ)とは全く別の意味(4.2%)を選んだ人の割合も、(ア)を選んだ人の割合(55.5%)の約7割に達しています。また、分からない(9.3%)を選んだ人の割合も、(ア)を選んだ人の割合(55.5%)の約16%に達しています。

年代別を見ると、16~19歳を除く全ての年代で(ア)の割合が高いものの、最も低い60代でも25.2%の人が(イ)を選んでおり、どの年代でも4人に1人以上の割合で、本来の意味ではない(イ)を選んでいることが読み取れます。「天地無用」は、本来、誤解が誘われてはならない注意喚起の言葉ですから、見過ごせない結果であるといえるかもしれません。

「日本国語大辞典 第2版」(平成12年・小学館)で「天地無用」は、「荷物の上下を逆にしてはいけない」という意味です。段ボール箱の荷物などに、赤地に白抜きで「天地無用」と書かれたシールが貼られていることがあります。しかし、それだけでは意味が分からない人が少なからずいるからでしょうか、最近では、記号やイラストを用いて視覚に訴えたり、「UP」「この面を上」などといった情報を書き足したりして、より分かりやすく示そうとする例が多くなっています。

平成25年度の「国語に関する世論調査」で、「天地無用の荷物」という例文を挙げて、その意味を尋ねました。結果は次のとおりです。

全体では、本来の意味である(ア)「上下を逆にしてはいけない」を選んだ人の割合(55.5%)が、本来の意味ではない(イ)「上下を気にしないでよい」を選んだ人の割合(29.2%)を26ポイント上回っています。また、(ア)と(イ)の両方を選んだ人の割合(1.8%)も、(ア)を選んだ人の割合(55.5%)の約3割に達しています。また、(ア)と(イ)とは全く別の意味(4.2%)を選んだ人の割合も、(ア)を選んだ人の割合(55.5%)の約7割に達しています。また、分からない(9.3%)を選んだ人の割合も、(ア)を選んだ人の割合(55.5%)の約16%に達しています。

年代別を見ると、16~19歳を除く全ての年代で(ア)の割合が高いものの、最も低い60代でも25.2%の人が(イ)を選んでおり、どの年代でも4人に1人以上の割合で、本来の意味ではない(イ)を選んでいることが読み取れます。「天地無用」は、本来、誤解が誘われてはならない注意喚起の言葉ですから、見過ごせない結果であるといえるかもしれません。

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「宅配便が届いた段ボール箱は、天地無用だから、逆さまにしても大丈夫だ」

この言い方が気に入らないあなた、受け取った荷物は大丈夫でしょうか？

「天地無用」という言葉の意味について「国語に関する世論調査」で尋ねたところ、約3割の人が「上下を気にしないでよい」という意味だと回答しました。

では、「天地無用」とは本来どのような意味か、辞書で調べてみましょう。

【広辞苑 第6版】(平成20年・岩波書店)

「日本国語大辞典 第2版」(平成12年・小学館)

「天地無用」は、「荷物の上下を逆にしてはいけない」という意味です。段ボール箱の荷物などに、赤地に白抜きで「天地無用」と書かれたシールが貼られていることがあります。しかし、それだけでは意味が分からない人が少なからずいるからでしょうか、最近では、記号やイラストを用いて視覚に訴えたり、「UP」「この面を上」などといった情報を書き足したりして、より分かりやすく示そうとする例が多くなっています。

では「天地無用」を「上下を気にしないでよい」という意味で受け取る人が多いのは、どのような理由があるのでしょうか。その前提として、「無用」の意味を調べてみましょう。

【岩波国語辞典 第7版新版】(平成22年・岩波書店)

「無用」①役に立たないこと。いらぬこと。「心配御」②してはならないこと。「立入り」「天地」(上下を逆にしてはならない)という注意喚起。③用事が無いこと。「この者、入るべからず」

②の例にあるように「天地無用」の「無用」は「してはならないこと」という意味です。

かつて、アニメ番組「ドラえもん」の主題歌の中に「落書き無用」という言葉がありました。これは「落書きをしてはならない」という意味で、「天地無用」も同じ使い方です。

このように「無用」の用法は、かつては注意書きなどによく見られました。しかし、現在は「落書き禁止」「立入禁止」など、「禁止」という言葉を用いたり、もっと丁寧に「……しないでください」「……は御遠慮ください」などと書かれたりするようになっていきます。そのために、「無用」という言葉に「してはならないこと」という意味での使い方が減ること自体、分りにくくなっているのかもしれない。

また、「無用」の意味が「してはならないこと」であることが分かっていても、「天地してはならない」では、意味が通じません。「天地無用」は、「天地を逆にする」というように、傍線部に当たる内容が省略された言い方になっているのです。字面だけを見ても、そのことは分かりませんが、本来の意味で読み取るのは難しいでしょう。

「落書き」や「立ち入り」とは違って、「天地」という言葉自体には「してはならない」というような内容がありません。「逆にする」という省略部分に気づかなければ、「無用」の意味は「役に立たないこと、いらぬこと」や「用事が無いこと」に取られかねないのです。その結果、「天地はいらぬ」上下は気にしないでいい、「天地に用事はない」天地は無用、などと解釈されることになりやすと考えられます。

「天地無用」という言葉は、いつも荷物を取り扱っている人や、意味を知っている人にはごく当たり前のものかもしれませんが、初めて目にした場合には解釈が難しい表現です。「国語に関する世論調査」でも、反対の意味だと考えている人と意味が分からないという人を合わせると4割近いという結果でした。

トラブルを避けるため、今後は分かりやすく言い換えたり、表示を工夫したりするなどの配慮が必要かもしれません。

(文化庁国語課「文化庁国語課の働いてほしい日本語」による)

1 「資料」の「年代別」の「(イ)上下を気にしないでよい」のグラフから分かることについて、文章中ではどのように説明されていますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 線部①「本来の意味ではない(イ)上下を気にしないでよい」を選んだ人の割合(29.2%)
- 2 線部②「分からない」と回答した人が1割弱
- 3 線部③「どの年代でも4人以上の割合で、本来とは逆の意味で考えている」
- 4 線部④「反対の意味だと考えている人と意味が分からないという人を合わせると4割近い」

二 この文章では、複数の辞書から「天地無用」の意味が引用されていますが、その効果について説明したものと最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

1 複数の辞書の記述を取り上げることで、「天地無用」の本来の意味について納得できるようにしている。

2 発行年の異なる辞書の記述を並べることで、「天地無用」の本来の意味の移り変わりが分かるようにしている。

3 複数の辞書の記述を比較することで、「天地無用」の本来の意味が複数あることに着目できるようにしている。

4 一つの辞書の記述に別の辞書の記述を補うことで、「天地無用」の本来の意味もと違った出来事が分かるようにしている。

三 この文章を読んで、「天地無用」という言葉を見たときに誤った意味で解釈してしまう人がいる理由を書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

※ 次のページの枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 出題の趣旨

- 文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉えること
- 文章の構成や展開について自分の考えをもつこと
- 目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くこと

目的や意図に応じて本や文章などを読む際には、今までの読書経験や体験などを踏まえ、内容や表現を、想像、分析、比較、対照、推論などによって相互に関連付けて読むことが大切である。また、文章の内容や構造を理解したり、その文章の特徴を把握したり、書き手の意図を推論したりしながら、自分の考えをまとめたり深めたりしていくことも重要である。

図表が使われている説明や記録の文章などを読む際は、図表が文章の中心的な部分、又は付加的な部分のどの部分と関連しているのかを確認するなどして、書き手の伝えたい内容をより的確に読み取る必要がある。また、これらの力は、例えば、総合的な学習の時間におけるレポートの作成など、図表を用いた記録や報告の文章を書く際などに生かすことができる。

本問では、「天地無用」という言葉が本来と違った意味で解釈されることが多い実態とその理由について、調査の結果などを基に考察した文章を取り上げた。文章とグラフとを関連付けて読んだり、文章の構成や展開の工夫とその効果について考えたりすることに加え、目的に応じて文章の内容を適切に捉えて書くことを求めている。

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第1学年〕 C 読むこと

イ 文章と図表などとの関連を考えながら、説明や記録の文章を読むこと。

〔第2学年〕 C 読むこと

イ 説明や評論などの文章を読み、内容や表現の仕方について自分の考えを述べること。

2. 解説

設問一

趣旨

文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉えることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 C 読むこと

イ 文章の中心的部分と付加的な部分，事実と意見などを読み分け，目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。 《文章の解釈》

■評価の観点

読む能力

解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
1	—	1	1と解答しているもの	
		2	2と解答しているもの	
		3	3と解答しているもの	◎
		4	4と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

○ 【資料】は《全体》と《年代別》の二つの調査結果を示していて，それぞれについて，文章中では「全体では」，「年齢別に見ると」という書き出しで段落を分けて説明している。このような文章の構成に注意して読む必要がある。

【解答類型1，2】は，文章と【資料】とを対応させて読むことに課題がある。段落の始めにある「全体では」という言葉が，【資料】の《全体》と対応していることが理解できていないものと考えられる。また，文章と【資料】とを対応させて読むことはできているが，《年代別》ではなく，《全体》のグラフを見て解答したものとも考えられる。

○ 【解答類型3】は，文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉えることができている。——線部③を含む段落が《年代別》のグラフから読み取った情報であることや，「(イ) 上下を気にしないでよい」のグラフの各年代の割合が25%以上であり，「上下を気にしないでよい」が「本来とは逆の意味」であることが理解できている。

○ 【解答類型4】は，文章と【資料】とを対応させて読むことに課題がある。——線部④は，《全体》のグラフの「(イ) 上下を気にしないでよい」と「分からない」を合わせて考えたものであることが理解できていないものと考えられる。

設問二

趣旨

文章の構成や展開について自分の考えをもつことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 C 読むこと

エ 文章の構成や展開，表現の特徴について，自分の考えをもつこと。

《自分の考えの形成》

■評価の観点

読む能力

解答類型

問題番号	解 答 類 型			正答
①	二	1	1と解答しているもの	◎
		2	2と解答しているもの	
		3	3と解答しているもの	
		4	4と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

- 【解答類型1】は、「天地無用」の意味を複数の辞書から引用することで，読者が納得しやすくなるように文章の構成や展開を工夫していることが理解できている。
- 【解答類型2】は，複数の辞書の説明を引用する効果を考えることに課題がある。二つの辞書の発行年は異なるが，「天地無用」の意味の説明に違いがないことが理解できていないものと考えられる。
- 【解答類型3】は，複数の辞書の説明を引用する効果を考えることに課題がある。複数の辞書の説明を引用したのは，本来の意味が複数あることを示すためではないことが理解できていないものと考えられる。
- 【解答類型4】は，複数の辞書の説明を引用する効果を考えることに課題がある。どちらの辞書も「天地無用」の意味の説明に内容の違いはなく，説明を補う関係にないということが理解できていないものと考えられる。

設問三

趣旨

目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 B 書くこと

ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。 《記述》

〔第1学年〕 C 読むこと

イ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。 《文章の解釈》

■評価の観点

国語への関心・意欲・態度

書く能力

読む能力

解答類型

問題番号	解答類型	正答
① 三	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 以下のa, bのうち、一つ以上の内容を適切に取り上げて書いている。 a 「してはならないこと」という意味を表す際に、現在は「無用」以外の表現を用いるようになっている。 b 「無用」という言葉に「してはならないこと」という意味での使い方があること自体が、分かりにくくなっている。 ② 以下のa, bのうち、一つ以上の内容を適切に取り上げて書いている。 a 「天地無用」には、「逆にする」に当たる内容が省略されている。 b 「逆にすること」が省略されていることに気付かないと、「天地無用」の「無用」の意味を、「してはならないこと」以外の意味で捉えてしまう。	
	1 条件①, ②を満たして解答しているもの	◎
	2 条件①を満たし, 条件②を満たさないで解答しているもの	
	3 条件②を満たし, 条件①を満たさないで解答しているもの	
	99 上記以外の解答	
	0 無解答	

■解答類型について

- 【解答類型1】は、目的に応じて文章を読み、論の展開を適切に捉えながら、文章の中心的な部分と付加的な部分とを読み分けて内容を整理して書くことができている。この文章では、「では、『天地無用』を『上下を気にしないでよい』という意味で受け取る人が多いのには、どのような理由があるのでしょうか。」と述べた上で、その理由を複数示している。理由を捉える際には、段落の始めにある指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などに着目して読むことも大切である。具体的な例としては、以下のようなものがある。

(例)

- ・ 現在は、「してはならないこと」という意味を表す際に、「無用」以外の言葉を使うことが多く、「無用」という言葉に「してはならないこと」という意味があることが分かりにくくなっているのかもしれないから。また、「天地無用」は「逆にすること」に当たる内容が省略された言い方になっていて、それに気付かないと「無用」を他の意味で捉えかねないから。
- ・ 「無用」という言葉に「してはならないこと」という意味での使い方があることが分かりにくいから。また、「天地無用」は「逆にすること」に当たる内容が省略された言い方になっていることが字面だけを見ても分からないから。

- 【解答類型2】は、目的に応じて、文章の内容の一部を読み取ることはできているが、論の展開を捉えて必要な内容を選択し整理して書くことに課題がある。ここでは、「また」や『落書き』や『立ち入り』とは違って」という表現で始まる段落に着目することができていないものと考えられる。具体的な例としては、以下のようなものがある。

(例)

- ・ 現在は、「してはならないこと」ということを表すとき、「無用」の代わりに「禁止」という言葉を用いたり、「……しないでください」などと書かれたりするから。そのために、「無用」という言葉に「してはならないこと」という意味での使い方があることが分かりにくくなっているから。

- 【解答類型3】は、目的に応じて、文章の内容の一部を読み取ることはできているが、論の展開を捉えて必要な内容を選択し整理して書くことに課題がある。ここでは、「このように」という表現で始まる段落に着目することができていないものと考えられる。具体的な例としては、以下のようなものがある。

(例)

- ・ 「天地無用」は「逆にすること」が省略されていて、省略部分に気付かなければ「無用」の意味は「役に立たないこと。」などに取られかねないから。

3. 出典等

- ・ 文化庁国語課『文化庁国語課の勘違いしやすい日本語』（平成27年12月 幻冬舎）による。

国語B2 資料を作成して発表する（ロボット）

人とコミュニケーションをとるロボットが、どのような会話をするのか詳しく聞きたいな。

南さん

これから「ロボットに期待すること」について発表します。
こちらの資料の①を見て下さい。私は、人とコミュニケーションをとることができる人型や動物型のロボットについて調べました。皆さんはこのようなロボットを見たことがありますか。それぞれのロボットによってできることは少しずつ違います。②にまとめましたが、特に私が注目したのは、人と触れ合うことで、一人一人の顔を覚えたり、接する相手に合わせて動いたりするロボットがあることです。ロボットも人間と同じように学習するということに驚きました。

私は、このような人とコミュニケーションをとることができるロボットを祖母に贈りたくりました。遠くに住んでいてなかなか会うことができない一人暮らしの祖母の生活に役立つと考えたからです。
ここまでで何か質問はありますか。

人とコミュニケーションをとるロボットが、どのような会話をするのか知りたいのですが、具体的な会話の例を教えてくださいませんか。

南さん 大野さん

山川さん

山川さんは、一人暮らしのおばあさんの生活にロボットがどのように役立つと考えているのですか。

【発表の直前の場面】

【発表・質問の場面の一部】

ロボットに期待すること

1 人とコミュニケーションをとるロボットの例

人型のロボット



動物型のロボット



2 ロボットができることの例

- 人の言葉や行動を認識して反応する。
 - ・ 簡単な日常会話をする。
 - ・ ニュースや天気予報を伝える。
- 人と触れ合うことで学習する。
 - ・ 一人一人の顔を覚える。
 - ・ 接する相手に合わせて動く。

3 これからの社会とロボット

- ・ 65歳以上の人口の割合は、2060年には日本の総人口の約4割になる見込み。
- ・ 総務省のアンケート調査では、60代以上の54.5%が、人とコミュニケーションをとるロボットを「利用したい」、「利用を検討してもよい」と回答。

（総務省ウェブページによる。）

【資料】

2 山川さんは、総合的な学習の時間に、ロボットについて発表しています。次は、山川さんが発表のために作成した【資料】「発表の直前の場面」と、それに続く【発表・質問の場面の一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。（発表の直前の場面）の中には、頭の中で考えていることを表します。）

1 【発表・質問の場面の一部】の南さんと大野さんの質問の意図として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 南さんは事前にもっていた疑問を解決するために質問し、大野さんは山川さんの説明の誤りを指摘するために質問している。
- 2 南さんは事前にもっていた疑問を解決するために質問し、大野さんは説明を聞いて生じた疑問を解決するために質問している。
- 3 南さんは山川さんの説明の矛盾を指摘するために質問し、大野さんは説明を聞いて生じた疑問を解決するために質問している。
- 4 南さんは山川さんの説明の矛盾を指摘するために質問し、大野さんは山川さんの発表の要点を確かめるために質問している。

2 南さんと大野さんに続いて、あなたが山川さんに質問するとしたら、どのような質問をしますか。実際に話すように一つ書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

3 山川さんは、最後にロボットに期待することを述べて発表をまとめます。山川さんの話の進め方として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 これまで話してきた内容や聞き手とのやりとりを踏まえた上で、【資料】の中の③の情報を取り上げながら発表をまとめる。
- 2 聞き手とのやりとりを通して生まれた新たな考えをもとに、【資料】の中の①と②の情報を使って発表をまとめる。
- 3 これまで話してきた内容や聞き手とのやりとりは踏まえずに、【資料】の中の③の情報を使って発表をまとめる。
- 4 聞き手とのやりとりの内容を受けて話の方向を転換し、【資料】の中の③の情報に触れずに発表をまとめる。

1. 出題の趣旨

- ・ 質問の意図を捉えること
- ・ 話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問すること
- ・ 全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話すこと

伝えたいことを聞き手に分かりやすく伝えるためには、表現を工夫したり、相手の反応を踏まえながら話したりすることが大切である。また、相手の話を聞きながら自分の考えを整理するためには、必要に応じて質問し、相手が言いたいことを確かめたり、足りない情報を聞き出したりすることが大切である。さらに、話の内容について質問する際には、個人的に分からないことについての質問か、あるいは全体で共有した方がよいことについての質問かを意識することも重要である。

なお、国語科で育成するこれらの言語能力については、各教科等における言語活動の更なる充実に資するものとなるよう、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図ることも大切である。

本問では、総合的な学習の時間における学習で、ロボットについて調べたことや考えたことを発表するという場面を設定した。話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問したり、聞き手とのやりとりを踏まえながら、話の全体として伝えたいことを明確にして話したりすることを求めている。

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第2学年〕 A 話すこと・聞くこと

ア 調べて分かったことや考えたことなどに基づいて説明や発表をしたり、それらを聞いて意見を述べたりすること。

2. 解説

設問一

趣旨

質問の意図を捉えることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 A 話すこと・聞くこと

エ 必要に応じて質問しながら聞き取り、自分の考えとの共通点や相違点を整理すること。
《聞くこと》

■評価の観点

話す・聞く能力

解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
②	—	1	1と解答しているもの	◎
		2	2と解答しているもの	
		3	3と解答しているもの	
		4	4と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

- 【解答類型1】は、大野さんの質問の意図を捉えることに課題がある。
- 【解答類型2】は、南さんと大野さんそれぞれの質問の意図を捉えることができている。南さんは、山川さんの発表を聞く前にもっていた疑問について、【発表・質問の場面の一部】で質問している。また、大野さんは、【発表・質問の場面の一部】で山川さんの発表を聞きながら生じた疑問について質問している。
- 【解答類型3】は、南さんの質問の意図を捉えることに課題がある。
- 【解答類型4】は、南さんと大野さんそれぞれの質問の意図を捉えることに課題がある。

設問二

趣旨

話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問することができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 A 話すこと・聞くこと

エ 必要に応じて質問しながら聞き取り, 自分の考えとの共通点や相違点を整理すること。
《聞くこと》

■評価の観点

国語への関心・意欲・態度
話す・聞く能力

解答類型

問題番号	解答類型	正答	
②	二	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 【資料】の中の①, ②に書かれていることや, 【発表・質問の場面の一部】の山川さんの発表に関する適切な質問を書いている。 ② 南さんと大野さんの質問と重ならない質問を書いている。 ③ 実際に話すように書いている。	
	1	条件①, ②, ③を満たして解答しているもの	◎
	2	条件①, ②を満たし, 条件③を満たさないで解答しているもの	
	3	条件①, ③を満たし, 条件②を満たさないで解答しているもの	
	4	条件②, ③を満たし, 条件①を満たさないで解答しているもの	
	99	上記以外の解答	
	0	無解答	

■解答類型について

- 【解答類型1】は, 話の展開に注意して聞き, 必要に応じて質問することができる。具体的な例としては, 以下のようなものがある。

(例)
・ 山川さんは, 人型と動物型のどちらのロボットをおばあさんに贈りたいと思ったのですか。
・ ロボットは, どのようにして天気についての情報を得ているのですか。
・ 人とコミュニケーションをとるロボットがする会話の内容は, 接する相手によって異なるのですか。(※)

- 【解答類型2】は, 目的や場面に応じて話すことに課題がある。具体的な例としては, 以下のようなものがある。

(例)
・ ロボットの人の顔の覚え方。
・ ニュースや天気予報の伝え方。

- 【解答類型3】は、目的や場面に応じて質問することに課題がある。ここでは、南さんと大野さんに続いて質問する場面であることを考える必要がある。具体的な例としては、以下のようなものがある。

(例)

- ・ 人とコミュニケーションをとるロボットが、どのような会話をするのかを教えてください。
- ・ 山川さんは、ロボットが一人暮らしのおばあさんの生活にどのように役立つと考えているのですか。

このように解答した生徒は、南さんや大野さんと同じ質問を書いている。ただし、質問の内容に広がりや深まりがあれば正答とする。(具体的な例は、【解答類型1】(※)に示している。)

- 【解答類型4】は、目的や場面に応じて質問することに課題がある。ここでは、【資料】の中の①、②に書かれていることや、【発表・質問の場面の一部】の山川さんの発表を踏まえて質問する必要がある。具体的な例としては、以下のようなものがある。

(例)

- ・ 65歳以上の人口の割合は、2060年には日本の総人口の約4割になるというのは本当ですか。
- ・ 総務省のアンケート調査には、山川さんがポスターに取り上げているアンケート結果の他に、どのようなものがありますか。

このように解答した生徒は、【資料】の中の③に書かれていることのみ言及しており、【資料】の中の①、②に書かれていることや、【発表・質問の場面の一部】の山川さんの発表に関する適切な質問を書いていない。

設問三

趣旨

全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話すことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 A 話すこと・聞くこと

イ 全体と部分、事実と意見との関係に注意して話を構成し、相手の反応を踏まえながら話すこと。 《話すこと》

■評価の観点

話す・聞く能力

解答類型

問題番号	解 答 類 型		正答	
②	三	1	1と解答しているもの	◎
		2	2と解答しているもの	
		3	3と解答しているもの	
		4	4と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

- 【解答類型1】は、発表の目的に応じ、全体と部分との関係に注意して聞き手の反応を踏まえながら話すことができている。
- 【解答類型2】は、発表の目的に応じ、全体と部分との関係に注意して話すことに課題がある。聞き手とのやりとりを踏まえて発表をまとめるという方向性はよいが、③の情報をを用いて「ロボットに期待すること」について述べるのが目的に合った話の進め方であることが理解できていないものと考えられる。
- 【解答類型3】は、発表の目的に応じ、全体と部分との関係に注意して聞き手の反応を踏まえながら話すことに課題がある。聞き手により分かりやすく伝えるためには、発表の流れや聞き手の反応を踏まえ、話の内容を付け足したり分かりやすく言い換えたりして発表をまとめる必要がある。
- 【解答類型4】は、発表の目的に応じ、全体と部分との関係に注意して話すことに課題がある。発表の目的を踏まえ、聞き手に伝えたいことは何なのかを常に意識して発表する必要がある。

3. 出典等

・【資料】は、総務省編『平成27年版情報通信白書』（平成27年7月 日経印刷）、総務省編『平成28年版情報通信白書』（平成28年8月 日経印刷）、経済産業省ウェブページ、国立研究開発法人日本医療研究開発機構ウェブページなどを参考にした。

国語B 3 文学的な文章を読む（「夢を買った話」）

3 次の文章は、古典を現代語に訳したものです。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

（川端善明「字治拾遺ものがたり」による）

（注1） 郡司＝国司のもとにあつて、その国の郡を治める者。その国々の豪族が任ぜられた。
（注2） 長男殿のおいでで＝長男殿がいらっしゃつて。
（注3） 穴なんぞをくじつて＝穴をあけて。

（川端善明「字治拾遺ものがたり」による）

一 この話に登場する人物についての説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 夢うらないの女は、ひきのまきひとの夢を不吉な夢だと予言した。
- 2 夢うらないの女は、ひきのまきひとに頼まれて彼の要求に応じた。
- 3 国司の長男殿は、ひきのまきひとを自分のライバルだと思い込んでいた。
- 4 国司の長男殿は、ひきのまきひとが自分の夢を取ったことを知っていた。

二 線部「考えてみると、夢を取るということは、なんと恐ろしいことではないか。」とありますが、これは誰の言葉ですか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 ひきのまきひと
- 2 夢うらないの女
- 3 国司の長男殿
- 4 この話の語り手

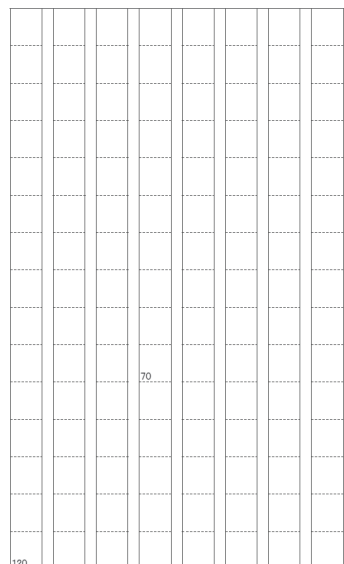
三 この話のあらすじを学級の友達に説明しようと思います。あなたならどのように説明しますか。次の条件1と条件2にしたがつて書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 話の展開を取り上げて書くこと。

条件2 七十文字以上、百二十文字以内で書くこと。

※ 次のページの枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。



1. 出題の趣旨

- ・ 場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解すること
- ・ 登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること
- ・ 相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書くこと

文学的な文章を読む際には、登場人物の言動が話の展開や作品全体に表れたものの見方などに、どのように関わっているかを考えながら読む必要がある。登場人物の言動の意味を考え、登場人物や作者の思いを想像することによって、作品全体に表れたものの見方や考え方に触れることができ、そのことが文章の理解を深めることにつながる。また、古典の現代語訳や古典について解説した文章などを読むことは、読書の幅を広げることにもつながる。

本問では、川端善明の「夢を買った話」を取り上げた。これは宇治拾遺物語にある説話を基に書かれたものである。長く読み継がれてきた古典の説話には、様々な人間の生き方や教訓などが描かれていることが多い。ここでは、場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、登場人物の言動の意味などを考えて内容を理解するとともに、相手に的確に伝わるようにあらすじを捉えて書くことを求めている。

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第2学年〕 C 読むこと

ア 詩歌や物語などを読み、内容や表現の仕方について感想を交流すること。

2. 解説

設問一

趣旨

場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解しているかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 C 読むこと

ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。

《文章の解釈》

■評価の観点

読む能力

解答類型

問題番号	解 答 類 型		正答	
③	一	1	1と解答しているもの	
		2	2と解答しているもの	◎
		3	3と解答しているもの	
		4	4と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

- 【解答類型1】は、登場人物の描写を正しく捉えることに課題がある。夢うらないの女にみてもらったひきのまきひとの夢については、「べつになんということもなく」とあることから、夢うらないの女は、ひきのまきひとの夢を不吉な夢だとは予言していないことが分かる。
- 【解答類型2】は、場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解している。ひきのまきひとは夢うらないの女に、「あの人の夢を、わたしに取らせてくれまいか」と言っており、夢うらないの女はそれに対し、「よろしゅうございます。おっしゃるままにいたしましょう。」と答えている。
- 【解答類型3】は、登場人物の相互関係を正しく捉えることに課題がある。国司の長男殿と、ひきのまきひととの直接的な接点を示す描写はない。また、ライバル関係であることを示す描写もない。
- 【解答類型4】は、登場人物の相互関係や全体の内容を正しく捉えることに課題がある。ひきのまきひとに自分の夢を取られたことを、国司の長男殿が知っていることを示す描写はない。ひきのまきひとが国司の長男殿の夢を取ったことを知っているのは、ここでは、ひきのまきひとと本人と夢うらないの女だけである。

設問二

趣旨

登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 C 読むこと

イ 文章全体と部分との関係，例示や描写の効果，登場人物の言動の意味などを考え，内容の理解に役立てること。 《文章の解釈》

■評価の観点

読む能力

解答類型

問題番号	解 答 類 型		正答	
③	二	1	1と解答しているもの	
		2	2と解答しているもの	
		3	3と解答しているもの	
		4	4と解答しているもの	◎
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

- 【解答類型1～3】は，場面の展開や登場人物の描写に注意して読み，登場人物の言動の意味などを考え，最後の場面が「この話の語り手」の言葉であることを捉えることに課題がある。
- 【解答類型4】は，登場人物の言動の意味などを考えて内容を理解している。「考えてみると，夢を取るということは，なんと恐ろしいことではないか。」は，会話文ではなく地の文であることや，内容がこの話の中の出来事についてのものの見方や考え方であることなどから，「この話の語り手」の言葉であることが分かる。

設問三

趣旨

相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書くことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 B 書くこと

ウ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。

《記述》

〔第1学年〕 C 読むこと

イ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。 《文章の解釈》

〔第2学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)ア

(イ) 古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像すること。

■評価の観点

国語への関心・意欲・態度

書く能力

読む能力

言語についての知識・理解・技能

解答類型

問題番号	解答類型	正答
③	三 (正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 話の展開を適切に取り上げて書いている。 ② 七十字以上、百二十字以内で書いている。	
	1 条件①、②を満たしているもののうち、話の全体を取り上げて解答しているもの	◎
	2 条件①、②を満たしているもののうち、話の一部分を取り上げて解答しているもの	◎
	3 条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	
	4 条件②を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの	
	99 上記以外の解答	
	0 無解答	

■解答類型について

○ 【解答類型1】は、学級の友達に自分の読んだ話の内容が的確に伝わるように、あらすじを捉えて書くことができている。具体的な例としては、以下のようなものがある。

(例)

- ・ むかし、国司の長男殿が自分の夢を夢うらないの女にみてもらおうと、大臣にまで出世する夢だと言われた。その夢を横取りしたひきのまきひとは、自分でもひたすら勉強して、本当に大臣になった。一方、国司の長男殿は官職もつかない身分で終わってしまった。(119字)
- ・ 長男殿のすばらしい夢の話を聞いたひきのまきひとは、夢うらないの女に頼んで夢を横取りし、大臣になった。夢を取られた長男殿は大臣になれなかった。(71字)
- ・ 国司の長男殿は夢うらないの女にすばらしい夢をみたと言われた。まきひとは女に頼んで長男殿の夢を横取りした。その後、まきひとは大臣になったが、長男殿は官職もつかない身分で終わってしまった。(93字)

このように解答した生徒は、ひきのまきひとと国司の長男殿の二人に着目して書いている。

(例)

- ・ 備中の国の郡司の子ひきのまきひとは、夢うらないの女と国司の長男殿とが話しているのを聞いた。長男殿の夢がすばらしい夢だと知ったまきひとは、女に頼んで長男殿の夢を横取りし、大臣になった。(92字)

このように解答した生徒は、ひきのまきひとに着目して書いている。

(例)

- ・ 国司の長男殿が、自分のみた夢を夢うらないの女にみてもらったところ、大臣になるすばらしい夢だと言われたが、その夢をひきのまきひとに取られてしまった。国司の長男殿は、結局、官職もつかない身分で終わってしまった。(104字)

このように解答した生徒は、国司の長男殿に着目して書いている。

- 【解答類型2】は、学級の友達に自分の読んだ話の内容が的確に伝わるように、あらすじを捉えて書くことができている。ただし、話の一部分のみを取り上げてあらすじをまとめている。あらすじをまとめる際には、目的や意図に応じて取り上げる部分を検討したり、部分同士のつながりが分かりやすく示されているかを確認したりする必要がある。具体的な例としては、以下のようなものがある。

(例)

- ・ 夢うらないの女のもとを訪れたひきのまきひとは、国司の長男殿のみた夢が大変すばらしいものであることを知った。そこで、ひきのまきひとは女に頼んで、その夢を横取りして帰っていった。(88字)

このように解答した生徒は、話の前半部分を取り上げて書いている。

(例)

- ・ むかし、ひきのまきひとはひたすら勉強して、ぐんぐんと学問のある人に成長した。そして遣唐使に選ばれ、長い間唐で学問や技術を習い覚えて帰国した。天皇にすっかり信任されたまきひとは、しだいに官職もあげて、ついには大臣にまで任命された。(115字)

このように解答した生徒は、話の後半部分を取り上げて書いている。

- 【解答類型 3】は、目的や意図に応じて適切な字数で書くことに課題がある。
- 【解答類型 4】は、話の展開を適切に取り上げて書くことに課題がある。具体的な例としては、以下のようなものがある。

(例)

- ・ 国司の長男殿は、夢うらないの女のところへ行き、ひきのまきひとの夢を横取りした。しかし、努力家であるまきひとは最後には大臣になってしまうという、不思議な話である。(81字)

このように解答した生徒は、話の展開を誤って捉えて書いている。

(例)

- ・ 夢についての話。私はこの話を読んで、登場人物の相互関係がとても面白いと感じた。また、語り手の言葉が効果的で、この話の面白さを引き立てていると思った。(75字)

このように解答した生徒は、話の展開を取り上げて書いていない。

3. 出典等

- ・ 川端善明「夢を買った話」(『宇治拾遺ものがたり』平成16年10月 岩波書店)による。

IV 解答用紙（正答（例））

※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、「Ⅲ 調査問題の解説」の「解答類型」等に記載していますので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも御参照ください。

● 全国学力・学習状況調査 解答(回答)用紙 ⑦ 国語 A オモ子

解答欄はウララにもあります。

【例】

申	し	込	め	数	に	パ	限	り	が	あ	り	を	利	用	す	。
受	付	で	ま	ま	き	で	ま	ま	ま	ま	ま	ま	ま	ま	ま	ま

※「組」は、下の例のように、2ケタで記入し、マーク欄を塗り潰してください。
 例：3組の場合

組：[0][3]

※「整理番号」は、「生徒用シート」を見て記入してください。

生徒記入欄		性別
組	整理番号	男 女
0	0	男
0	1	男
0	2	男
0	3	男
0	4	男
0	5	男
0	6	男
0	7	男
0	8	男
0	9	男
1	0	女
1	1	女
1	2	女
1	3	女
1	4	女
1	5	女
1	6	女
1	7	女
1	8	女
1	9	女

1 ー 【村井さんの感想】 ① ② ③ ● ⑤

【清水さんの感想】 ① ② ③ ④ ●

2 ー ① ● ③ ④

3 ー ● ② ③ ④

ー ① ② ● ④

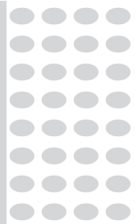
4 ー ① ② ③ ●

ー ① ● ③ ④

5 ー ① ② ③ ●

ー ① ② ● ④

答案番号



※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、「Ⅲ 調査問題の解説」の「解答類型」等に記載していますので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも御参照ください。

● 全国学力・学習状況調査 解答(回答)用紙 ⑦ 国語 A ウラ

6 一 ● ② ③ ④

二 黒川さんと木村さんは、^例なぜそれぞれの方法がよいと考
えたのですか。

7 一 ① ② ● ④

二 ① ● ③ ④

8 一 1 東 ねる

2 幕

3 許 す

二 1 もけい

2 こお る

3 みが く

三 ア ① ● ③ ④

イ ● ② ③ ④

ウ ① ② ③ ●

エ ① ● ③ ④

オ ① ② ● ④

カ ● ② ③ ④

キ ① ② ③ ●

四 1 ① ● ③ ④

2 ^例私は、スポーツ選手の努力する姿に
心を打たれた。

五 ● ② ③ ④

六 1 ^例言うには

2 とほせざるなし ^例とおせざるなし

3 ① ② ③ ●

解答欄はオモテにもあります。

※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、「Ⅲ 調査問題の解説」の「解答類型」等に記載していますので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも御参照ください。

● 全国学力・学習状況調査 解答(回答)用紙 ⑥ 国語B オマケ

解答欄はウラにもあります。

※「組」は、下の例のように、2ケタで記入し、マーク欄を塗り潰してください。
例：3組の場合

組：

※「整理番号」は、「生徒用シート」を見て記入してください。

生徒記入欄		性別
組	整理番号	
		男
		女
0	0	<input type="radio"/>
0	1	<input type="radio"/>
0	2	<input type="radio"/>
1	0	<input type="radio"/>
1	1	<input type="radio"/>
1	2	<input type="radio"/>
2	0	<input type="radio"/>
2	1	<input type="radio"/>
2	2	<input type="radio"/>
3	0	<input type="radio"/>
3	1	<input type="radio"/>
3	2	<input type="radio"/>
4	0	<input type="radio"/>
4	1	<input type="radio"/>
4	2	<input type="radio"/>
5	0	<input type="radio"/>
5	1	<input type="radio"/>
5	2	<input type="radio"/>
6	0	<input type="radio"/>
6	1	<input type="radio"/>
6	2	<input type="radio"/>
7	0	<input type="radio"/>
7	1	<input type="radio"/>
7	2	<input type="radio"/>
8	0	<input type="radio"/>
8	1	<input type="radio"/>
8	2	<input type="radio"/>
9	0	<input type="radio"/>
9	1	<input type="radio"/>
9	2	<input type="radio"/>

1 ① ② ③ ④

二 ① ② ③ ④

三 例 現在は、「してはならないこと」という意味を表す際に、「無用」以外の言葉を使うことが多く、「無用」という言葉に「してはならないこと」という意味があることが分かりにくくなっているのかもしれないから。また、「天地無用」は「逆にすること」に当たる内容が省略された言い方になっていて、それに気付かないと「無用」を他の意味で捉えかねないから。

2 ① ② ③ ④

二 例 山川さんは、人型と動物型のどちらのロボットをおばあさんに贈りたいと思ったのですか。

三 ① ② ③ ④

答案番号



※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、「Ⅲ 調査問題の解説」の「解答類型」等に記載していますので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも御参照ください。

● 全国学力・学習状況調査 解答(回答)用紙 ⑥ 国語 B **ウラ**

3 一 ① ● ③ ④

二 ① ② ③ ●

三 例 むかし、国司の長男殿が自分の夢を夢うらないの女にみてもらうと、大臣にまで出世する夢だと言われた。その夢を横取りしたひきのまきひとは、自分でもひたすら勉強して、本当に大臣になった。一方、国司の長男殿は官職もつかない身分で終わってしまった。

解答欄はオモテにもあります。

V 点字問題 (抜粹)

点字問題は、通常問題と同様の趣旨・内容で作成している。ただし、点字を使用して学習する児童生徒の情報取得の特性や点字による表現方法等を考慮し、児童生徒が調査問題で問われている内容及び解答に必要な情報を的確に把握し、問題の趣旨に沿った解答に臨むことができるように、例えば、次のような配慮を行っている。

(1) 問題文などの記述及びレイアウト等について

必要に応じて、文章や図表等の記述を変更したり、提示する順序を入れ替えたり、ページ配置を変更したりするなどの調整を行う。

(2) 図やグラフの提示の仕方について

提示する情報の精選を行った上で、表などに置換したり、必要かつ可能なものは点図（点を用いて示した図）で示したりするなど、提示方法の変更・調整を行う。

(3) 出題形式の変更及び代替問題について

児童生徒の学習内容や生活経験等を考慮し、通常問題の内容をそのまま点字化して出題することが適当ではない問題については、出題の趣旨等を踏まえた上で、出題形式の変更や代替問題の作成を行う。

なお、上記のような配慮に伴い、解答類型の調整等を行った問題については、P. 88～P. 89に問題及び解答類型（点字問題用）を示している。

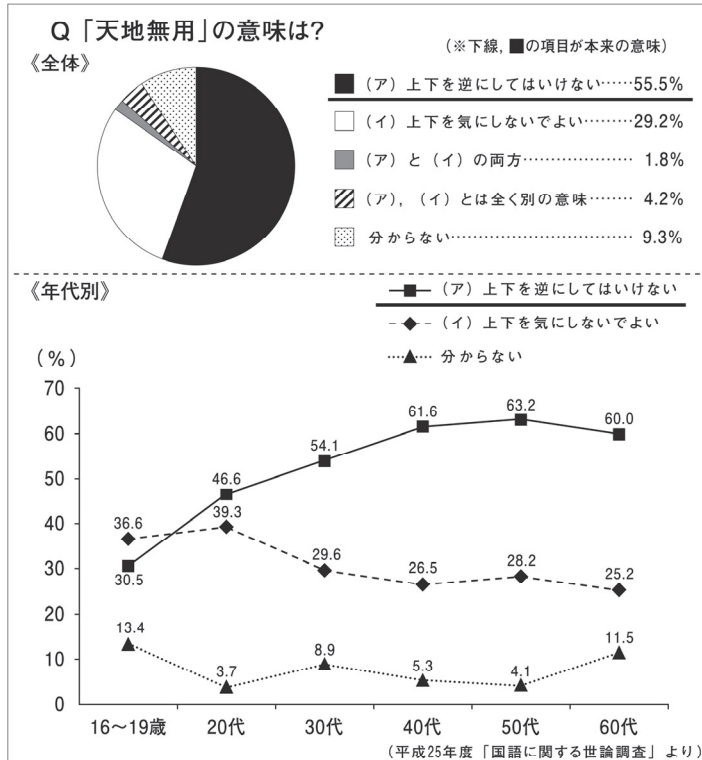
<点字問題における具体的な配慮例>

【通常問題】

B1

部分

【資料】



平成25年度の「国語に関する世論調査」で、「天地無用の荷物」という例文を挙げて、その意味を尋ねました。結果は次のとおりです。

全体では、本来の意味である(ア)「上下を逆にしてはいけない」を選んだ人の割合(55.5%)が、本来の意味ではない(イ)「上下を気にしないでよい」を選んだ人の割合(29.2%)を26ポイント上回っています。また、「分からない」と回答した人が1割弱となっています。

② 年齢別に見ると、16~19歳を除く全ての年代で(ア)の割合が高いものの、最も低い60代でも25.2%の人が(イ)を選んでおり、どの年代でも4人に1人以上の割合で、本来とは逆の意味で考えていることが読み取れます。

③ 「天地無用」は、本来、誤解があつてはならない注意喚起の言葉ですから、見過ごせない結果であるといえるかもしれません。

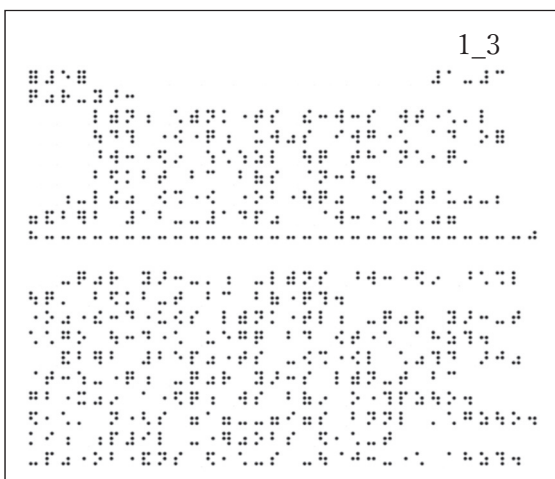
【点字問題】 B 1

本問題では、主に次のような配慮を行った。

- 通常問題では、天地無用の意味を尋ねる調査について、全体の結果を円グラフで、年代別の結果を折れ線グラフで表示している。しかし、点字を使用して学習する生徒にとって、本問題の円グラフは、違いを確認するのが困難である。また、折れ線グラフは複数あり、読み取りが困難である。そのため、数値が読み取りやすくなるように、円グラフ、折れ線グラフともに表に変更した。

<点字問題（墨点字版）>

部分



<点字問題（活字版）>

部分

てんちーむよう
荷物、貨物などの包装の外側に記す語で、破損の恐れがあるため上下をさかさまにして取り扱ってはいけないという意味の注意。
『日本国語大辞典 第2版』（平成12～14年 小学館）

「天地無用」は、「荷物の上下を逆にしてはいけない」という意味です。段ボール箱の荷物などに、「天地無用」と書かれたシールが貼られていることがあります。

平成25年度の「国語に関する世論調査」で、「天地無用の荷物」という例文を挙げて、その意味を尋ねました。結果は次の（ア）～（オ）の五つに分かれました。なお、p9に「全体の結果」と「年代別の結果」の「資料」があります。

中国B(点字)-1

1_4

√ 1.4

(ア) 上下を逆にしてはいけない
 (イ) 上下を気にしないでよい
 (ウ) (ア) と (イ) の両方
 (エ) (ア) と (イ) とは全く別の意味
 (オ) 分からない

全体では、本来の意味である (ア) 「上下を逆にしてはいけない」を選んだ人の割合 (55.5%) が、(a) 本来の意味ではない (イ) 「上下を気にしないでよい」を選んだ人の割合 (29.2%) を26ポイント上回っています。また、(b) 「分からない」と回答した人が1割弱となっています。

年齢別に見ると、16～19歳を除く全ての年代で (ア) の割合が高いものの、最も低い60代でも25.2%の人が (イ) を選んでおり、(c) どの年代でも4人に1人以上の割合で、本来とは逆の意味で

中国B(点字) - 2

1_5

√ 1.5

考えていることが読み取れます。

「天地無用」は、本来、誤解があってはならない注意喚起の言葉ですから、見過ごせない結果であるといえるかもしれません。

では、「天地無用」を「上下を気にしないでよい」という意味で受け取る人が多いのは、どのような理由があるのでしょうか。その前提として、「無用」の意味を調べてみましょう。

むよう

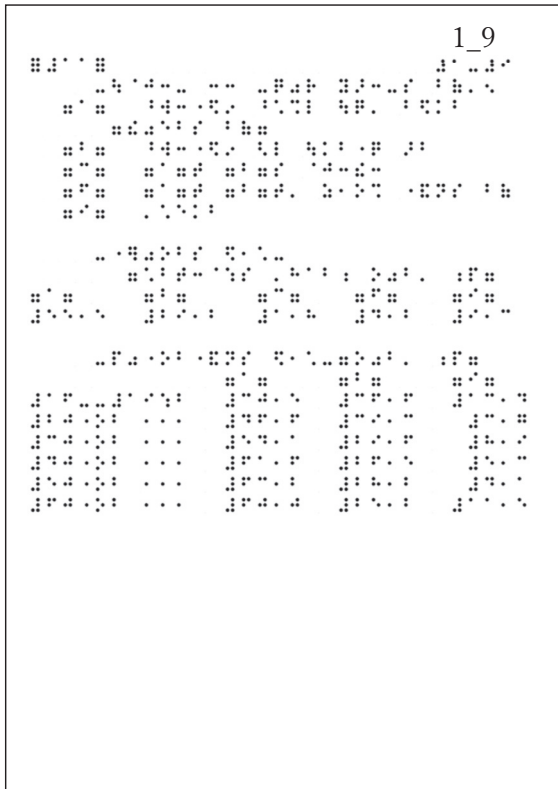
(1) 役に立たないこと。いらぬこと。「心配御むよう」
 (2) してはならないこと。「立入りむよう」「天地むよう」(上下を逆にしてはならないという注意書)
 (3) 用事が無いこと。「むようの着、入るべからず」

『岩波国語辞典 第7版新版』(平成22年 岩波書店)

中国B(点字) - 3

(中略)

(中略)



(以下略)

√ 1.9

「資料」 ____ 「天地無用」の意味は？
 (ア) 上下を逆にしてはいけない(本来の意味)
 (イ) 上下を気にしないでよい
 (ウ) (ア) と (イ) の両方
 (エ) (ア) と (イ) とは全く別の意味
 (オ) 分からない

「全体の結果」
 (回答者の割合、単位は%)

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
	55.5	29.2	1.8	4.2	9.3

「年代別の結果」
 (単位は%)

	(ア)	(イ)	(オ)
16～19歳	30.5	36.6	13.4
20代	46.6	39.3	3.7
30代	54.1	29.6	8.9
40代	61.6	26.5	5.3
50代	63.2	28.2	4.1
60代	60.0	25.2	11.5

中国B(点字)-6

(以下略)

<点字問題において解答類型の変更，調整等を行った問題>

【点字問題】 A 8 1. 2.

√ 8.1 8

次の 1. ～ 6. の各問いに答えなさい。

1.

次の ア. ～ ウ. の文中の「・・・」で示した語の意味を簡潔に答えなさい。

- ア. 質問に「即答」する。
- イ. ごみが「増加」する。
- ウ. 時間を「短縮」する。

√ 8.2

2.

次の ア. ～ ウ. の文中の「・・・」で示した部分と同じ漢字を用いるものを、それぞれ (1) ～ (4) の中から一つ選びなさい。

ア. 模型をセイ「サク」する。

- (1) 「サク」ブンをかく
- (2) 「サク」ジツのできごと
- (3) テストのタイ「サク」
- (4) 「サク」ジョする

イ. 池の水が「トウ」ケツする。

- (1) 「トウ」ロンする
- (2) 「トウ」ボウする
- (3) レイ「トウ」する
- (4) 「トウ」チャクする

√ 8.3

ウ. 「ギ」ジュツを磨く。

- (1) 「ギ」モンをもつ
- (2) カイ「ギ」をひらく
- (3) 権利と「ギ」ム
- (4) リクジョウキョウ「ギ」

問題番号		解答類型		正答
8	1. ア.	1	「その場ですぐに答えること。」 という意味が含まれているもの	◎
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	
	1. イ.	1	「数量が増えること。」という意味が含まれているもの	◎
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	
	1. ウ.	1	「短く縮めること。」「短く縮まること。」 という意味が含まれているもの	◎
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	
	2. ア.	1	(1) と解答しているもの	◎
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	
	2. イ.	1	(3) と解答しているもの	◎
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	
	2. ウ.	1	(4) と解答しているもの	◎
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

VI 擴大文字問題（拔粹）

拡大文字問題は、通常問題と同様の趣旨・内容で作成している。ただし、弱視児童生徒の見え方に伴う負担等を軽減するため、通常問題で使用しているA4判の用紙をB4判の大きさに拡大するとともに、次のような配慮を行っている。

- (1) 原則として文字の大きさを22ポイントとし、丸ゴシック体・中太とする。
- (2) 十分な字間及び行間等に設定する。
- (3) 必要に応じて、拡大率やレイアウト等を変更する。

＜拡大文字問題における具体的な配慮例＞


【通常問題】 A2

図書だより 第一中学校図書委員会

電子書籍を読んでもみませんか？

電子書籍とは？

パソコンの画面などで読むことができる電子化された書籍のことです。



電子書籍を読むには？

家にパソコンなどがなくても、市立図書館に行くと読むことができます。ぜひ一度、体験してみませんか。

A

おすすめの電子書籍は？

『私たちの町の歴史』という本をおすすめします。私たちの暮らす地域がどのように発展してきたかが紹介されています。

利用の仕方を詳しく知るには？

電子書籍の利用の仕方を詳しく書いたパンフレットが学校図書館にあります。興味がある人は学校図書館に来てください。

中国A-3

2

次は、図書委員の鈴木さんが書いた「図書だよりの下書き」と、それを読んだ他の図書委員から出された「意見1」と「意見2」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【図書だよりの下書き】

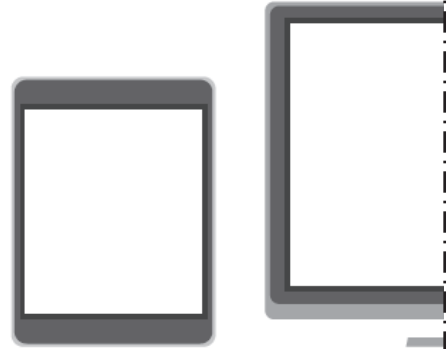
A2では、下のような配慮を行い、次のページのように変更・調整した。

【図書だよりの下書き】にあるAの文字の拡大率を調整し、解答する際に課題を捉えやすくした。また、色のグラデーションを取るなどイラストの配色を変えて、図を捉えやすくした。

電子書籍を読んでみませんか

○ 電子書籍とは？

パソコンの画面
などで読むことが
できる電子化された
書籍のことです。



○ 電子書籍を読むには？

家にパソコンなどがなくても、
図書館に行くと読むことができます。
一度、体験してみませんか。

A

【通常問題】 B2

【発表の直前の場面】

人とコミュニケーションをとるロボットが、どのような会話をするのか詳しく聞きたいな。

南さん

これから「ロボットに期待すること」について発表します。
 こちらの資料の①を見てください。私は、人とコミュニケーションをとることができる人型や動物型のロボットについて調べました。皆さんはこのようなロボットを見たことがありますか。それぞれのロボットによってできることは少しずつ違います。②にまとめましたが、特に私が注目したのは、人と触れ合うことで、一人一人の顔を覚えたり、接する相手に合わせて動いたりするロボットがあることです。ロボットも人間と同じように学習するということに驚きました。

私は、このような人とコミュニケーションをとることができるロボットを祖母に贈りたくになりました。遠くに住んでいてなかなか会うことができない一人暮らしの祖母の生活に役立つと考えたからです。
 ここまでで何か質問はありますか。

【発表・質問の場面の一部】

人とコミュニケーションをとるロボットが、どのような会話をするのか知りたいのですが、具体的な会話の例を教えてくださいませんか。

南さん 大野さん

山川さん



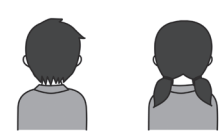
山川さんは、一人暮らしのおばあさんの生活にロボットがどのように役立つと考えているのですか。

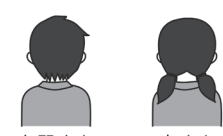
中国B-8

B2では、下のような配慮を行い、次のページのように変更・調整した。

- 1) 【発表の直前の場面】，【発表・質問の場面の一部】について、誰が考えていることか、誰の発言（吹き出し）かが的確に認識できるように、全体のレイアウトを変更した。
- 2) 【発表の直前の場面】，【発表・質問の場面の一部】にある【資料】について、通常問題では、縮小した【資料】を添付しているが、その情報が把握できるように、「22 ページから 23 ページの【資料】」として文字で示した。

【拡大文字問題（抜粋）】 B2

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">23 ページの【資料】</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">22 ページから</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>山川さん</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>これから「ロボットに期待すること」について発表します。</p> <p>こちらの資料の【1】を見てください。</p> <p>私は、人とコミュニケーションをとることができる人型や動物型のロボットについて調べました。皆さんはこのような</p> </div> <p style="text-align: center;">中国B-25</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">23 ページの【資料】</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">22 ページから</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>南さん</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>南さん</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>人とコミュニケーションをとるロボットが、どのような会話をするのか詳しく聞きたいな。</p> </div> <p style="text-align: center;">中国B-24</p>
---	---

<div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">  <p>大野さん 南さん</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>山川さんは、一人暮らしのおばあさんの生活にロボットがどのように役立つと考えているのですか。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>人とコミュニケーションをとるロボットが、どのような会話をするのか知りたいのですが、具体的な会話の例を教えてくださいませんか。</p> </div> <p style="text-align: center;">中国B-27</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>ロボットを見たことがありますか。それぞれのロボットによってできることは少しずつ違います。【2】にまとめましたが、特に私が注目したのは、人と触れ合うことで、一人一人の顔を覚えたり、接する相手に合わせて動いたりするロボットがあることです。ロボットも人間と同じように学習するというのに驚きました。</p> <p>私は、このような人とコミュニケーションをとることができるロボットを祖母に贈りたくなりました。遠くに住んでいてなかなか会うことができない一人暮らしの祖母の生活に役立つと考えたからです。</p> <p>ここまでで何か質問はありますか。</p> </div> <p style="text-align: center;">中国B-26</p>
--	--

